

その他費用の算定根拠
(NTT西日本)

目 次

I	作業単金	2
II	工事費	4
III	手続費	25
IV	一般管理費比率	43
V	電力設備等の年額料金の算定に適用する比率	43
VI	設備使用料の料金算定に採用する自己資本利益率	43
VII	光信号引込等設備に係る負担額	44
VIII	既に設置された当社の光屋内配線に係る精算額	44
IX	番号情報データベース登録手続費、料金請求回収代行手続費、 光信号端末回線の概算提供可能時期の調査に要する費用、光配線区域情報調査費、 ルーティング番号登録工事等受付手続費、同一番号移転可否情報調査費、き線点情報調査費、 端末回線情報提供手続費及び申込者情報確認結果即時通知手続費の算定において用いた一般管理費比率	45
	(参考)	
1.	設備区分別固定資産明細表(通信料対応設備合計及びデータ系設備合計の合計の内訳)	46
2.	設備区分別の費用明細表(通信料対応設備合計及びデータ系設備合計の合計の内訳)	47
3.	その他	48

I 作業単金

(1) 労務費単金

区 分	平成28年度決算ベース	備 考
①NTT西日本施設保全費内労務費合計 (超過勤務手当・雑給・退職給与金除く)	3,308 (単位:百万円)	
②NTT西日本施設保全業務稼働要員数	476 (単位:人)	特別調査による
③NTT西日本施設保全業務における1人あたり年間労務費	6,950 (単位:千円)	①/②
④年間平均労働日数	225 (単位:日)	
⑤1人1日あたり労務費単金(平日)	30,889 (単位:円)	③/④
⑥1日あたり実労働予定時間	7.5 (単位:時間)	
⑦1人1時間あたり労務費単金(平日昼間)	4,119 (単位:円)	⑤/⑥
⑧1人1時間あたり労務費単金(平日夜間)	4,910 (単位:円)	当社における各時間帯の労務費割増率を勘案し算定
⑨1人1時間あたり労務費単金(平日深夜)	5,815 (単位:円)	
⑩1人1時間あたり労務費単金(土日祝日昼夜間)	5,137 (単位:円)	
⑪1人1時間あたり労務費単金(土日祝日深夜)	6,041 (単位:円)	

(2) 物件費比率

区 分	比率等	備 考
①施設保全費内の物件費	749 (単位:百万円)	
②施設保全費内の労務費(超過勤務手当・雑給・退職給与金除く)	3,308 (単位:百万円)	
③物件費比率	22.6 (単位:%)	①/②

(3) 管理共通費比率

区 分	比率等	備 考
①管理共通費(退職給与金除く)	119,898 (単位:百万円)	
②直接費(退職給与金除く)	648,250 (単位:百万円)	
③管理共通費比率	18.5 (単位:%)	①/②

(4) 退職給与費比率

区 分	比率等	備 考
①退職給与金	5,716 (単位:百万円)	
②直接費(退職給与金除く)	648,250 (単位:百万円)	
③退職給与費比率	0.9 (単位:%)	①/②

(5) 報酬率

区 分	比率等	備 考
①適用報酬率	0.48 (単位:%)	当社の網改造料算定における報酬率
②料金回収期間	45.63 (単位:日)	
③報酬率	0.06 (単位:%)	①×②/365

(6) 利益対応税率

区 分	比率等	備 考
①下限報酬率	0.27 (単位:%)	
②利益対応税率(課税対象報酬全体に対する比率)	42.39 (単位:%)	当社の網改造料算定における利益対応税率
③利益比率	43.75 (単位:%)	1-①/(5)①
④利益対応税率(報酬全体に対する比率)	18.55 (単位:%)	②×③

1人1時間あたり作業単金(平日昼間)

(単位:円)

区 分	金額等	備 考
①労務費単金(平日昼間・1時間)	4,119	(1)⑦
②物件費	931	①×(2)③
③管理共通費	934	(①+②)×(3)③
④退職給与費	45	(①+②)×(4)③
⑤報酬	4	((①+②+③+④)×(5)③)
⑥利益対応税	1	⑤×(6)④
⑦1人1時間あたり作業単金(平日昼間)	6,034	①+②+③+④+⑤+⑥

1人1時間あたり作業単金(平日夜間)

(単位:円)

区 分	金額等	備 考
①労務費単金(平日夜間・1時間)	4,910	(1)⑧
②物件費	931	(1)⑦×(2)③
③管理共通費	1,081	(①+②)×(3)③
④退職給与費	45	((①)⑦+②)×(4)③
⑤報酬	4	(①+②+③+④)×(5)③
⑥利益対応税	1	⑤×(6)④
⑦1人1時間あたり作業単金(平日夜間)	6,972	①+②+③+④+⑤+⑥

1人1時間あたり作業単金(平日深夜)

(単位:円)

区 分	金額等	備 考
①労務費単金(平日深夜・1時間)	5,815	(1)⑨
②物件費	931	(1)⑦×(2)③
③管理共通費	1,248	(①+②)×(3)③
④退職給与費	45	((①)⑦+②)×(4)③
⑤報酬	5	(①+②+③+④)×(5)③
⑥利益対応税	1	⑤×(6)④
⑦1人1時間あたり作業単金(平日深夜)	8,045	①+②+③+④+⑤+⑥

1人1時間あたり作業単金(土日祝日昼夜間)

(単位:円)

区 分	金額等	備 考
①労務費単金(土日祝日昼夜間・1時間)	5,137	(1)⑩
②物件費	931	(1)⑦×(2)③
③管理共通費	1,123	(①+②)×(3)③
④退職給与費	45	((①)⑦+②)×(4)③
⑤報酬	4	(①+②+③+④)×(5)③
⑥利益対応税	1	⑤×(6)④
⑦1人1時間あたり作業単金(土日祝日昼夜間)	7,241	①+②+③+④+⑤+⑥

1人1時間あたり作業単金(土日祝日深夜)

(単位:円)

区 分	金額等	備 考
①労務費単金(土日祝日深夜・1時間)	6,041	(1)⑪
②物件費	931	(1)⑦×(2)③
③管理共通費	1,290	(①+②)×(3)③
④退職給与費	45	((①)⑦+②)×(4)③
⑤報酬	5	(①+②+③+④)×(5)③
⑥利益対応税	1	⑤×(6)④
⑦1人1時間あたり作業単金(土日祝日深夜)	8,313	①+②+③+④+⑤+⑥

II 工事費

(1) VPN工事費(1回線ごとに)

ア. 当社の加入者交換機にVPNサービス機能を登録する工事に要する費用

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.420 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	2,534 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

イ. 当社の加入者交換機に登録されたVPNサービス機能を廃止すると同時に新たな方式によるVPNサービス機能を登録する工事及びVPNサービス機能に係るデータ設定を変更する工事に要する費用

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.523 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	3,156 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(2) テレドームサービス登録工事費(1回線ごとに)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.286 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	1,726 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(3) 地域指定着信課金機能用迷惑電話おこわり機能登録工事費(1回線ごとに)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.350 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	2,112 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(4) メンバースネットサービス登録工事費(1回線ごとに)

(新設の場合)
(平日昼間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.680 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	4,103 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(平日夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,972 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.680 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	4,741 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(平日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,045 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.680 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	5,471 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(土日祝日昼夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7,241 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.680 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	4,924 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(土日祝日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,313 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.680 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	5,653 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(廃止の場合)
(平日昼間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.537 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	3,240 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(平日夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,972 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.537 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	3,744 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(平日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,045 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.537 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	4,320 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(土日祝日昼夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7,241 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.537 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	3,888 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(土日祝日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,313 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.537 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	4,464 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(5) 特定中継事業者利用停止工事費(1回線ごとに)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.123 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	742 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(6) 特定中継事業者契約不締結工事費(1回線ごとに)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.029 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	175 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(7) 全国型着信短縮ダイヤル機能登録工事費(1工事ごとに)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	1.125 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	6,788 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(8)ルーティング番号登録工事費(1ルーティング番号ごとに)

ア.基本額

(ア)(イ)以外の場合
(平日昼間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034(単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.183(単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	1,104(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(平日夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,972(単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.183(単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	1,276(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(平日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,045(単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.183(単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	1,472(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(土日祝日昼夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7,241(単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.183(単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	1,325(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(土日祝日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,313(単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.183(単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	1,521(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(イ)当社が指定した電気通信回線設備を通じて申込みを行う場合
(平日昼間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034(単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.112(単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	676(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(平日夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,972(単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.112(単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	781(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(平日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,045(単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.112(単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	901(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(土日祝日昼夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7,241(単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.112(単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	811(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(土日祝日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,313(単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.112(単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	931(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(9)ルーティング番号等削除工事費

ア. ルーティング番号のみを削除する場合(1ルーティング番号ごとに)

(ア) (イ)以外の場合

(平日昼間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.183 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	1,104 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(平日夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,972 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.183 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	1,276 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(平日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,045 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.183 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	1,472 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(土日祝日昼夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7,241 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.183 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	1,325 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(土日祝日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,313 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.183 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	1,521 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(イ) 当社が指定した電気通信回線設備を通じて申込みを行う場合

(平日昼間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.095 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	573 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(平日夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,972 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.095 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	662 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(平日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,045 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.095 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	764 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(土日祝日昼夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7,241 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.095 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	688 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(土日祝日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,313 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.095 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	790 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

イ. ルーティング番号及び契約者回線番号等を削除する場合(1ルーティング番号及び契約者回線番号等ごとに)

(ア) (イ)以外の場合

(平日昼間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.205 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	1,237 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(平日夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,972 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.205 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	1,429 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(平日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,045 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.205 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	1,649 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(土日祝日昼夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7,241 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.205 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	1,484 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(土日祝日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,313 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.205 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	1,704 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(イ) 当社が指定した電気通信回線設備を通じて申込みを行う場合

(平日昼間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.095 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	573 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(平日夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,972 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.095 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	662 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(平日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,045 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.095 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	764 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(土日祝日昼夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7,241 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.095 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	688 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(土日祝日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,313 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.095 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	790 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(10)ルーティング番号変更工事費(1ルーティング番号ごとに)

ア.基本額

(ア) (イ)以外の場合
(平日昼間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.366 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	2,208 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(平日夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,972 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.366 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	2,552 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(平日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,045 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.366 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	2,944 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(土日祝日昼夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7,241 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.366 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	2,650 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(土日祝日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,313 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.366 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	3,043 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(イ) 当社が指定した電気通信回線設備を通じて申込みを行う場合
(平日昼間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.165 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	996 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(平日夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,972 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.165 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	1,150 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(平日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,045 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.165 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	1,327 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(土日祝日昼夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7,241 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.165 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	1,195 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(土日祝日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,313 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.165 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	1,372 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(11) 光屋内配線工事費
 ア. 光屋内配線を新たに設置する場合(1工事ごとに)
 (i) 平日昼間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	1.967 (単位:時間)	
③当該作業に係る物品費	2,419 (単位:円)	平成28年度調達実績
④当該作業に係る工事費	14,288 (単位:円)	$(① \times ② + ③) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(ii) 平日夜間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,972 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	1.967 (単位:時間)	
③当該作業に係る物品費	2,419 (単位:円)	平成28年度調達実績
④当該作業に係る工事費	16,133 (単位:円)	$(① \times ② + ③) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(iii) 平日深夜の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,045 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	1.967 (単位:時間)	
③当該作業に係る物品費	2,419 (単位:円)	平成28年度調達実績
④当該作業に係る工事費	18,244 (単位:円)	$(① \times ② + ③) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(iv) 土日祝日昼間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7,241 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	1.967 (単位:時間)	
③当該作業に係る物品費	2,419 (単位:円)	平成28年度調達実績
④当該作業に係る工事費	16,662 (単位:円)	$(① \times ② + ③) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(v) 土日祝日夜間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7,241 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	1.967 (単位:時間)	
③当該作業に係る物品費	2,419 (単位:円)	平成28年度調達実績
④当該作業に係る工事費	16,662 (単位:円)	$(① \times ② + ③) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(vi) 土日祝日深夜の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,313 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	1.967 (単位:時間)	
③当該作業に係る物品費	2,419 (単位:円)	平成28年度調達実績
④当該作業に係る工事費	18,771 (単位:円)	$(① \times ② + ③) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

イ. 協定事業者が現に利用している光屋内配線を加工する場合(1工事ごとに)

(i) 平日昼間の場合

区 分	金 額 等		備 考
①作業単金(1時間あたり)	6.034	(単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	1.767	(単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	10.662	(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(ii) 平日夜間の場合

区 分	金 額 等		備 考
①作業単金(1時間あたり)	6.972	(単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	1.767	(単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	12.320	(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(iii) 平日深夜の場合

区 分	金 額 等		備 考
①作業単金(1時間あたり)	8.045	(単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	1.767	(単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	14.216	(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(iv) 土日祝日昼間の場合

区 分	金 額 等		備 考
①作業単金(1時間あたり)	7.241	(単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	1.767	(単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	12.795	(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(v) 土日祝日夜間の場合

区 分	金 額 等		備 考
①作業単金(1時間あたり)	7.241	(単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	1.767	(単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	12.795	(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(vi) 土日祝日深夜の場合

区 分	金 額 等		備 考
①作業単金(1時間あたり)	8.313	(単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	1.767	(単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	14.689	(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

ウ、既に設置された当社の光屋内配線をそのまま転用する場合(1工事ごとに)

(ア)利用者宅内の壁面に設置された光成端盤(光屋内配線を終端しているもの)に限ります。以下(イ)欄においても同じとします。)を利用する場合

a. 既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分

(a)取得固定資産価額の算定

(i)平日昼間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	I 作業単金の(6)利益対応税率について、平成28年度適用の資本構成比及び利益対応税率(42.82%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②1の工事に要する作業時間	1,933 (単位:時間)	平成28年度適用工事費の算定に用いた作業時間
③当該作業に係る物品費	2,422 (単位:円)	平成28年度調達実績
④取得固定資産価額	14,086 (単位:円)	①×②+③

(ii)平日夜間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,972 (単位:円)	I 作業単金の(6)利益対応税率について、平成28年度適用の資本構成比及び利益対応税率(42.82%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②1の工事に要する作業時間	1,933 (単位:時間)	平成28年度適用工事費の算定に用いた作業時間
③当該作業に係る物品費	2,422 (単位:円)	平成28年度調達実績
④取得固定資産価額	15,899 (単位:円)	①×②+③

(iii)平日深夜の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,045 (単位:円)	I 作業単金の(6)利益対応税率について、平成28年度適用の資本構成比及び利益対応税率(42.82%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②1の工事に要する作業時間	1,933 (単位:時間)	平成28年度適用工事費の算定に用いた作業時間
③当該作業に係る物品費	2,422 (単位:円)	平成28年度調達実績
④取得固定資産価額	17,973 (単位:円)	①×②+③

(iv)土日祝日昼間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7,241 (単位:円)	I 作業単金の(6)利益対応税率について、平成28年度適用の資本構成比及び利益対応税率(42.82%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②1の工事に要する作業時間	1,933 (単位:時間)	平成28年度適用工事費の算定に用いた作業時間
③当該作業に係る物品費	2,422 (単位:円)	平成28年度調達実績
④取得固定資産価額	16,419 (単位:円)	①×②+③

(v)土日祝日夜間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7,241 (単位:円)	I 作業単金の(6)利益対応税率について、平成28年度適用の資本構成比及び利益対応税率(42.82%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②1の工事に要する作業時間	1,933 (単位:時間)	平成28年度適用工事費の算定に用いた作業時間
③当該作業に係る物品費	2,422 (単位:円)	平成28年度調達実績
④取得固定資産価額	16,419 (単位:円)	①×②+③

(vi)土日祝日深夜の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,313 (単位:円)	I 作業単金の(6)利益対応税率について、平成28年度適用の資本構成比及び利益対応税率(42.82%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②1の工事に要する作業時間	1,933 (単位:時間)	平成28年度適用工事費の算定に用いた作業時間
③当該作業に係る物品費	2,422 (単位:円)	平成28年度調達実績
④取得固定資産価額	18,491 (単位:円)	①×②+③

(vii)平日・土日祝日及び時間帯加重後の取得固定資産価額

区 分	金 額 等	備 考
①平日昼間の場合の取得固定資産価額	14,086 (単位:円)	(i)の④
②平日夜間の場合の取得固定資産価額	15,899 (単位:円)	(ii)の④
③平日深夜の場合の取得固定資産価額	17,973 (単位:円)	(iii)の④
④土日祝日昼間の場合の取得固定資産価額	16,419 (単位:円)	(iv)の④
⑤土日祝日夜間の場合の取得固定資産価額	16,419 (単位:円)	(v)の④
⑥土日祝日深夜の場合の取得固定資産価額	18,491 (単位:円)	(vi)の④
⑦光屋内配線の開通工事における平日昼間工事の割合	81.8% (単位:%)	平成28年度実績
⑧光屋内配線の開通工事における平日夜間工事の割合	0.3% (単位:%)	
⑨光屋内配線の開通工事における平日深夜工事の割合	0.1% (単位:%)	
⑩光屋内配線の開通工事における土日祝日昼間工事の割合	17.7% (単位:%)	
⑪光屋内配線の開通工事における土日祝日夜間工事の割合	0.0% (単位:%)	
⑫光屋内配線の開通工事における土日祝日深夜工事の割合	0.0% (単位:%)	
⑬平日・土日祝日及び時間帯加重後の取得固定資産価額	14,494 (単位:円)	①×⑦+②×⑧+③×⑨+④×⑩+⑤×⑪+⑥×⑫
⑭算定に使用する取得固定資産価額	17,536 (単位:円)	平成29年度適用その他費用算定根拠のⅡの(12)のウの(ア)のa.(a)の(vii)の⑭と⑬を開通数比で加重して算定。

(vii)光屋内配線取得固定資産価額

区 分	金 額 等	備 考
①取得固定資産価額	17,536 (単位:円)	(vii)の⑭
②光屋内配線末施設数	6,669,312 (単位:回線)	平成28年度末施設数
③光屋内配線取得固定資産価額	116,953 (単位:百万円)	①×②

(b)光屋内配線平均残価率の算定

区 分	金 額 等	備 考
①光屋内配線取得固定資産価額	116,953 (単位:百万円)	(a)の(vii)の③
②回収済み収入額	35,173 (単位:百万円)	平成28年度までの自社工事料収入、他社工事料収入及び違約金に係る累計収入
③光屋内配線取得固定資産価額(回収済み収入額控除後)	81,780 (単位:百万円)	①-②
④光ファイバ残価率	22.9% (単位:%)	平成28年度末値(平成20年度以降は耐用年数10年・残存価額0とした場合)
⑤光屋内配線残価相当額	18,728 (単位:百万円)	③×④
⑥光屋内配線平均残価率	16.0% (単位:%)	⑤÷①

(c)既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分

区 分	金 額 等	備 考
①取得固定資産価額	17,536 (単位:円)	(a)の(vii)の⑭
②光屋内配線平均残価率	16.0% (単位:%)	(b)の⑥
③既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分	2,806 (単位:円)	①×②

b. 工事実費

(a)当社による当社の回線終端装置の撤去に併せて、既に設置された光屋内配線の利用に係る工事を行う場合

(i)平日昼間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.450 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事実費	2,715 (単位:円)	①×②

(ii)平日夜間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,972 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.450 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事実費	3,137 (単位:円)	①×②

(iii)平日深夜の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,045 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.450 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事実費	3,620 (単位:円)	①×②

(iv)土日祝日昼間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7,241 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.450 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事実費	3,258 (単位:円)	①×②

(v)土日祝日夜間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7,241 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.450 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事実費	3,258 (単位:円)	①×②

(vi)土日祝日深夜の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,313 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.450 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事実費	3,741 (単位:円)	①×②

(b)当社による当社の回線終端装置の撤去とは別に、既に設置された光屋内配線の利用に係る工事を行う場合

(i)平日昼間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6.034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.767 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事実費	4.628 (単位:円)	①×②

(ii)平日夜間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6.972 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.767 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事実費	5.348 (単位:円)	①×②

(iii)平日深夜の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8.045 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.767 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事実費	6.171 (単位:円)	①×②

(iv)土日祝日昼間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7.241 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.767 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事実費	5.554 (単位:円)	①×②

(v)土日祝日夜間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7.241 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.767 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事実費	5.554 (単位:円)	①×②

(vi)土日祝日深夜の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8.313 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.767 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事実費	6.376 (単位:円)	①×②

c. 工事費

①当社による当社の回線終端装置の撤去に併せて、既に設置された光屋内配線の利用に係る工事を行う場合

(i)平日昼間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分	2,806 (単位:円)	aの(c)の③
②工事実費	2,715 (単位:円)	bの(a)の(i)の③
③工事費	5,521 (単位:円)	(①+②) × (1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した賃倒率)

(ii)平日夜間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分	2,806 (単位:円)	aの(c)の③
②工事実費	3,137 (単位:円)	bの(a)の(ii)の③
③工事費	5,943 (単位:円)	(①+②) × (1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した賃倒率)

(iii)平日深夜の場合

区 分	金 額 等	備 考
①既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分	2,806 (単位:円)	aの(c)の③
②工事実費	3,620 (単位:円)	bの(a)の(iii)の③
③工事費	6,426 (単位:円)	(①+②) × (1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した賃倒率)

(iv)土日祝日昼間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分	2,806 (単位:円)	aの(c)の③
②工事実費	3,258 (単位:円)	bの(a)の(iv)の③
③工事費	6,064 (単位:円)	(①+②) × (1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した賃倒率)

(v)土日祝日夜間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分	2,806 (単位:円)	aの(c)の③
②工事実費	3,258 (単位:円)	bの(a)の(v)の③
③工事費	6,064 (単位:円)	(①+②) × (1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した賃倒率)

(vi)土日祝日深夜の場合

区 分	金 額 等	備 考
①既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分	2,806 (単位:円)	aの(c)の③
②工事実費	3,741 (単位:円)	bの(a)の(vi)の③
③工事費	6,547 (単位:円)	(①+②) × (1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した賃倒率)

②当社による当社の回線終端装置の撤去とは別に、既に設置された光屋内配線の利用に係る工事を行う場合

(i)平日昼間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分	2,806 (単位:円)	aの(c)の③
②工事実費	4,628 (単位:円)	bの(b)の(i)の③
③工事費	7,434 (単位:円)	$((1+2) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率))$

(ii)平日夜間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分	2,806 (単位:円)	aの(c)の③
②工事実費	5,348 (単位:円)	bの(b)の(ii)の③
③工事費	8,154 (単位:円)	$((1+2) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率))$

(iii)平日深夜の場合

区 分	金 額 等	備 考
①既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分	2,806 (単位:円)	aの(c)の③
②工事実費	6,171 (単位:円)	bの(b)の(iii)の③
③工事費	8,977 (単位:円)	$((1+2) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率))$

(iv)土日祝日昼間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分	2,806 (単位:円)	aの(c)の③
②工事実費	5,554 (単位:円)	bの(b)の(iv)の③
③工事費	8,360 (単位:円)	$((1+2) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率))$

(v)土日祝日夜間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分	2,806 (単位:円)	aの(c)の③
②工事実費	5,554 (単位:円)	bの(b)の(v)の③
③工事費	8,360 (単位:円)	$((1+2) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率))$

(vi)土日祝日深夜の場合

区 分	金 額 等	備 考
①既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分	2,806 (単位:円)	aの(c)の③
②工事実費	6,376 (単位:円)	bの(b)の(vi)の③
③工事費	9,182 (単位:円)	$((1+2) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率))$

(イ)利用者宅内の壁面に新たに光成端盤を設置する場合

a. 既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分

(a)取得固定資産価額の算定

(i)平日昼間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	I 作業単金の(6)利益対応税率について、平成28年度適用の資本構成比及び利益対応税率(42.82%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②1の工事に要する作業時間	1,783 (単位:時間)	平成28年度適用工事費の算定に用いた作業時間
③当該作業に係る物品費	2,121 (単位:円)	平成28年度調達実績
④取得固定資産価額	12,880 (単位:円)	①×②+③

(ii)平日夜間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,972 (単位:円)	I 作業単金の(6)利益対応税率について、平成28年度適用の資本構成比及び利益対応税率(42.82%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②1の工事に要する作業時間	1,783 (単位:時間)	平成28年度適用工事費の算定に用いた作業時間
③当該作業に係る物品費	2,121 (単位:円)	平成28年度調達実績
④取得固定資産価額	14,552 (単位:円)	①×②+③

(iii)平日深夜の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,045 (単位:円)	I 作業単金の(6)利益対応税率について、平成28年度適用の資本構成比及び利益対応税率(42.82%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②1の工事に要する作業時間	1,783 (単位:時間)	平成28年度適用工事費の算定に用いた作業時間
③当該作業に係る物品費	2,121 (単位:円)	平成28年度調達実績
④取得固定資産価額	16,465 (単位:円)	①×②+③

(iv)土日祝日昼間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7,241 (単位:円)	I 作業単金の(6)利益対応税率について、平成28年度適用の資本構成比及び利益対応税率(42.82%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②1の工事に要する作業時間	1,783 (単位:時間)	平成28年度適用工事費の算定に用いた作業時間
③当該作業に係る物品費	2,121 (単位:円)	平成28年度調達実績
④取得固定資産価額	15,032 (単位:円)	①×②+③

(v)土日祝日夜間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7,241 (単位:円)	I 作業単金の(6)利益対応税率について、平成28年度適用の資本構成比及び利益対応税率(42.82%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②1の工事に要する作業時間	1,783 (単位:時間)	平成28年度適用工事費の算定に用いた作業時間
③当該作業に係る物品費	2,121 (単位:円)	平成28年度調達実績
④取得固定資産価額	15,032 (単位:円)	①×②+③

(vi)土日祝日深夜の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,313 (単位:円)	I 作業単金の(6)利益対応税率について、平成28年度適用の資本構成比及び利益対応税率(42.82%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②1の工事に要する作業時間	1,783 (単位:時間)	平成28年度適用工事費の算定に用いた作業時間
③当該作業に係る物品費	2,121 (単位:円)	平成28年度調達実績
④取得固定資産価額	16,943 (単位:円)	①×②+③

(vii)平日・土日祝日及び時間帯加重後の取得固定資産価額

区 分	金 額 等	備 考
①平日昼間の場合の取得固定資産価額	12,880 (単位:円)	(i)の④
②平日夜間の場合の取得固定資産価額	14,552 (単位:円)	(ii)の④
③平日深夜の場合の取得固定資産価額	16,465 (単位:円)	(iii)の④
④土日祝日昼間の場合の取得固定資産価額	15,032 (単位:円)	(iv)の④
⑤土日祝日夜間の場合の取得固定資産価額	15,032 (単位:円)	(v)の④
⑥土日祝日深夜の場合の取得固定資産価額	16,943 (単位:円)	(vi)の④
⑦光屋内配線の開通工事における平日昼間工事の割合	81.8% (単位:%)	平成28年度実績
⑧光屋内配線の開通工事における平日夜間工事の割合	0.3% (単位:%)	
⑨光屋内配線の開通工事における平日深夜工事の割合	0.1% (単位:%)	
⑩光屋内配線の開通工事における土日祝日昼間工事の割合	17.7% (単位:%)	
⑪光屋内配線の開通工事における土日祝日夜間工事の割合	0.0% (単位:%)	
⑫光屋内配線の開通工事における土日祝日深夜工事の割合	0.0% (単位:%)	
⑬平日・土日祝日及び時間帯加重後の取得固定資産価額	13,257 (単位:円)	
⑭算定に使用する取得固定資産価額	16,093 (単位:円)	平成29年度適用その他費用算定根拠のⅡの(12)のウの(イ)のa.(a)の(vii)の⑭と⑬を開通数比で加重して算定。

(viii)光屋内配線取得固定資産価額

区 分	金 額 等	備 考
①取得固定資産価額	16,093 (単位:円)	(vii)の⑭
②光屋内配線未施設数	6,669,312 (単位:回線)	平成28年度未施設数
③光屋内配線取得固定資産価額	107,329 (単位:百万円)	①×②

(b)光屋内配線平均残価率の算定

区 分	金 額 等	備 考
①光屋内配線取得固定資産価額	107,329 (単位:百万円)	(a)の(viii)の③
②回収済み収入額	35,173 (単位:百万円)	平成28年度までの自社工事料収入、他社工事料収入及び違約金に係る累計収入
③光屋内配線取得固定資産価額(回収済み収入額控除後)	72,156 (単位:百万円)	①-②
④光ファイバ残価率	22.9% (単位:%)	平成20年度末値(平成20年度以降は前年10年移行価額とした場合)
⑤光屋内配線残価相当額	16,524 (単位:百万円)	③×④
⑥光屋内配線平均残価率	15.4% (単位:%)	⑤÷①

(c)既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分

区 分	金 額 等	備 考
①取得固定資産価額	16,093 (単位:円)	(a)の(vii)の⑭
②光屋内配線平均残価率	15.4% (単位:%)	(b)の⑥
③既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分	2,478 (単位:円)	①×②

b. 工事実費

(a)当社による当社の回線終端装置の撤去に併せて、既に設置された光屋内配線の利用に係る工事を行う場合

(i)平日昼間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.600 (単位:時間)	
③当該作業に係る物品費	301 (単位:円)	平成28年度調達実績
④当該作業に係る工事実費	3,921 (単位:円)	①×②+③

(ii)平日夜間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,972 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.600 (単位:時間)	
③当該作業に係る物品費	301 (単位:円)	平成28年度調達実績
④当該作業に係る工事実費	4,484 (単位:円)	①×②+③

(iii)平日深夜の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,045 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.600 (単位:時間)	
③当該作業に係る物品費	301 (単位:円)	平成28年度調達実績
④当該作業に係る工事実費	5,128 (単位:円)	①×②+③

(iv)土日祝日昼間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7,241 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.600 (単位:時間)	
③当該作業に係る物品費	301 (単位:円)	平成28年度調達実績
④当該作業に係る工事実費	4,646 (単位:円)	①×②+③

(v)土日祝日夜間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7,241 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.600 (単位:時間)	
③当該作業に係る物品費	301 (単位:円)	平成28年度調達実績
④当該作業に係る工事実費	4,646 (単位:円)	①×②+③

(vi)土日祝日深夜の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,313 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.600 (単位:時間)	
③当該作業に係る物品費	301 (単位:円)	平成28年度調達実績
④当該作業に係る工事実費	5,289 (単位:円)	①×②+③

(b)当社による当社の回線終端装置の撤去とは別に、既に設置された光屋内配線の利用に係る工事を行う場合

(i)平日昼間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.917 (単位:時間)	
③当該作業に係る物品費	301 (単位:円)	平成28年度調達実績
④当該作業に係る作業実費	5,834 (単位:円)	①×②+③

(ii)平日夜間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,972 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.917 (単位:時間)	
③当該作業に係る物品費	301 (単位:円)	平成28年度調達実績
④当該作業に係る作業実費	6,694 (単位:円)	①×②+③

(iii)平日深夜の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,045 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.917 (単位:時間)	
③当該作業に係る物品費	301 (単位:円)	平成28年度調達実績
④当該作業に係る作業実費	7,678 (単位:円)	①×②+③

(iv)土日祝日昼間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7,241 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.917 (単位:時間)	
③当該作業に係る物品費	301 (単位:円)	平成28年度調達実績
④当該作業に係る作業実費	6,941 (単位:円)	①×②+③

(v)土日祝日夜間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7,241 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.917 (単位:時間)	
③当該作業に係る物品費	301 (単位:円)	平成28年度調達実績
④当該作業に係る作業実費	6,941 (単位:円)	①×②+③

(vi)土日祝日深夜の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,313 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.917 (単位:時間)	
③当該作業に係る物品費	301 (単位:円)	平成28年度調達実績
④当該作業に係る作業実費	7,924 (単位:円)	①×②+③

c. 工事費

①当社による当社の回線終端装置の撤去に併せて、既に設置された光屋内配線の利用に係る工事を行う場合

(i)平日昼間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分	2,478 (単位:円)	aの(c)の③
②工事実費	3,921 (単位:円)	bの(a)の(i)の④
③工事費	6,399 (単位:円)	$(①+②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(ii)平日夜間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分	2,478 (単位:円)	aの(c)の③
②工事実費	4,484 (単位:円)	bの(a)の(ii)の④
③工事費	6,962 (単位:円)	$(①+②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(iii)平日深夜の場合

区 分	金 額 等	備 考
①既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分	2,478 (単位:円)	aの(c)の③
②工事実費	5,128 (単位:円)	bの(a)の(iii)の④
③工事費	7,606 (単位:円)	$(①+②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(iv)土日祝日昼間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分	2,478 (単位:円)	aの(c)の③
②工事実費	4,646 (単位:円)	bの(a)の(iv)の④
③工事費	7,124 (単位:円)	$(①+②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(v)土日祝日夜間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分	2,478 (単位:円)	aの(c)の③
②工事実費	4,646 (単位:円)	bの(a)の(v)の④
③工事費	7,124 (単位:円)	$(①+②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(vi)土日祝日深夜の場合

区 分	金 額 等	備 考
①既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分	2,478 (単位:円)	aの(c)の③
②工事実費	5,289 (単位:円)	bの(a)の(vi)の④
③工事費	7,767 (単位:円)	$(①+②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

②当社による当社の回線終端装置の撤去とは別に、既に設置された光屋内配線の利用に係る工事を行う場合

(i)平日昼間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分	2,478 (単位:円)	aの(c)の③
②作業実費分	5,834 (単位:円)	bの(b)の(i)の④
③工事費	8,312 (単位:円)	$(①+②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(ii)平日夜間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分	2,478 (単位:円)	aの(c)の③
②作業実費分	6,694 (単位:円)	bの(b)の(ii)の④
③工事費	9,172 (単位:円)	$(①+②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(iii)平日深夜の場合

区 分	金 額 等	備 考
①既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分	2,478 (単位:円)	aの(c)の③
②作業実費分	7,678 (単位:円)	bの(b)の(iii)の④
③工事費	10,156 (単位:円)	$(①+②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(iv)土祝日昼間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分	2,478 (単位:円)	aの(c)の③
②作業実費分	6,941 (単位:円)	bの(b)の(iv)の④
③工事費	9,419 (単位:円)	$(①+②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(v)土祝日夜間の場合

区 分	金 額 等	備 考
①既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分	2,478 (単位:円)	aの(c)の③
②作業実費分	6,941 (単位:円)	bの(b)の(v)の④
③工事費	9,419 (単位:円)	$(①+②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(vi)土祝日深夜の場合

区 分	金 額 等	備 考
①既設設備に係る工事料の転用先事業者負担分	2,478 (単位:円)	aの(c)の③
②作業実費分	7,924 (単位:円)	bの(b)の(vi)の④
③工事費	10,402 (単位:円)	$(①+②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(12) 光回線設備収容替工事費(1工事ごとに)

ア. 光信号端末回線(光局外スプリッタを含まないものに限ります。)の場合

(ア)基本額

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	1.133 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	6,837 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(イ)加算額

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	1.333 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	8,043 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

イ. 一般光信号中継回線の場合

(ア)基本額

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.233 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	1,406 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(イ)加算額

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	1.283 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	7,742 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(13) 光回線設備接続モジュール取替工事費(1工事ごとに)

ア. 光信号端末回線の場合

(ア)基本額

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	1.133 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	6,837 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(イ)加算額

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	1.999 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	12,062 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

イ. 一般光信号中継回線の場合

(ア)基本額

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.233 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	1,406 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(イ)加算額

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	1.700 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	10,258 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(14) 光信号電気信号変換装置データ設定変更工事費(1工事ごとに)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	1.434 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	8,653 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(15) 光信号分岐端末回線接続工事費(1光信号分岐端末回線ごとに)

(平日昼間)

区 分	金 額 等	備 考
①当該作業に係る工事費	3,981(単位:円)	
②当該作業に係る工事費	3,981(単位:円)	①×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(平日夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①当該作業に係る工事費	4,468(単位:円)	
②当該作業に係る工事費	4,468(単位:円)	①×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(平日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①当該作業に係る工事費	5,025(単位:円)	
②当該作業に係る工事費	5,025(単位:円)	①×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(土日祝日昼間)

区 分	金 額 等	備 考
①当該作業に係る工事費	4,588(単位:円)	
②当該作業に係る工事費	4,588(単位:円)	①×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(土日祝日夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①当該作業に係る工事費	4,588(単位:円)	
②当該作業に係る工事費	4,588(単位:円)	①×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(土日祝日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①当該作業に係る工事費	5,165(単位:円)	
②当該作業に係る工事費	5,165(単位:円)	①×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(16) 光信号分岐端末回線収容キャビネット等設置工事費(1光信号分岐端末回線ごとに)

(平日昼間)

区 分	金 額 等	備 考
①当該作業に係る工事費	1,337(単位:円)	
②当該作業に係る工事費	1,337(単位:円)	①×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(平日夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①当該作業に係る工事費	1,411(単位:円)	
②当該作業に係る工事費	1,411(単位:円)	①×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(平日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①当該作業に係る工事費	1,495(単位:円)	
②当該作業に係る工事費	1,495(単位:円)	①×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(土日祝日昼間)

区 分	金 額 等	備 考
①当該作業に係る工事費	1,432(単位:円)	
②当該作業に係る工事費	1,432(単位:円)	①×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(土日祝日夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①当該作業に係る工事費	1,432(単位:円)	
②当該作業に係る工事費	1,432(単位:円)	①×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(土日祝日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①当該作業に係る工事費	1,516(単位:円)	
②当該作業に係る工事費	1,516(単位:円)	①×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(17) 光信号分岐端末回線設置等加算工事費(1光信号分岐端末回線ごとに)
(平日夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①平日昼間の当該作業に係わる工事費	13,930 (単位:円)	
②平日夜間の当該作業に係る工事費	14,854 (単位:円)	
③加算工事費	924 (単位:円)	$(②-①) \times (1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(平日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①平日昼間の当該作業に係わる工事費	13,930 (単位:円)	
②平日深夜の当該作業に係る工事費	15,910 (単位:円)	
③加算工事費	1,980 (単位:円)	$(②-①) \times (1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(土日祝日昼間)

区 分	金 額 等	備 考
①平日昼間の当該作業に係わる工事費	13,930 (単位:円)	
②土日祝日昼間の当該作業に係る工事費	15,118 (単位:円)	
③加算工事費	1,188 (単位:円)	$(②-①) \times (1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(土日祝日夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①平日昼間の当該作業に係わる工事費	13,930 (単位:円)	
②土日祝日夜間の当該作業に係る工事費	15,118 (単位:円)	
③加算工事費	1,188 (単位:円)	$(②-①) \times (1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(土日祝日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①平日昼間の当該作業に係わる工事費	13,930 (単位:円)	
②土日祝日深夜の当該作業に係る工事費	16,174 (単位:円)	
③加算工事費	2,244 (単位:円)	$(②-①) \times (1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(18) 融着接続工事費(1回線ごとに)

(平日昼間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.526 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	3,174 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(土日祝日昼間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7,241 (単位:円)	
②1の工事に要する作業時間	0.526 (単位:時間)	
③当該作業に係る工事費	3,809 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

Ⅲ 手続費

(1) 電話帳掲載手続費(1発行ごとに1掲載あたり)

平成29年4月1日から平成30年3月31日までの間に適用するための手続費

ア. 原価の算定

(ア)更新結果チェック(新規・変更データの登録時にデータをチェックするための1版あたりのコスト)

区 分	金 額 等		備 考
	職業別電話帳	50音別電話帳	
①設備管理運営費	29,878	22,226	(単位:円)
②他人資本費用	12	9	(単位:円)
③自己資本費用	5	4	(単位:円)
④利益対応税	3	2	(単位:円)
⑤合計	29,898	22,241	(単位:円) ①+②+③+④

(イ)伝票入力(新規・変更時に職業分類等の情報を入力するのに必要な1版あたりのコスト。職業別電話帳のみに加算)

区 分	金 額 等		備 考
	職業別電話帳	50音別電話帳	
①設備管理運営費		325,937	(単位:円)
②他人資本費用		135	(単位:円)
③自己資本費用		60	(単位:円)
④利益対応税		36	(単位:円)
⑤合計		326,168	(単位:円) ①+②+③+④

(ウ)印刷・製本委託額(職業別電話帳・50音別電話帳それぞれ1版を生産するのに必要な平均的モデルより算定)

区 分	金 額 等		備 考
	職業別電話帳	50音別電話帳	
①設備管理運営費	4,907,246	1,393,883	(単位:円)
②他人資本費用	2,027	576	(単位:円)
③自己資本費用	896	255	(単位:円)
④利益対応税	540	153	(単位:円)
⑤合計	4,910,709	1,394,867	(単位:円) ①+②+③+④

(エ)電話帳システム使用料(電話帳の発行・編集等に係る1版あたりのシステムコスト)

区 分	金 額 等		備 考
	職業別電話帳	50音別電話帳	
①設備管理運営費	556,945	305,721	(単位:円)
②他人資本費用	230	126	(単位:円)
③自己資本費用	102	56	(単位:円)
④利益対応税	61	34	(単位:円)
⑤合計	557,338	305,937	(単位:円) ①+②+③+④

イ. 単金の算定

区 分	金 額 等		備 考
	職業別電話帳	50音別電話帳	
①1版あたりの平均掲載件数	26,240	19,520	(単位:件) 平成28年度の実績
②更新結果チェック	1	1	(単位:円) ア. (ア)⑤/①
③伝票入力	12	-	(単位:円) ア. (イ)⑤/①
④印刷・製本委託額	187	71	(単位:円) ア. (ウ)⑤/①
⑤電話帳システム使用料	21	16	(単位:円) ア. (エ)⑤/①
⑥合計	221	88	(単位:円) (②+③+④+⑤) × (1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(2) 番号情報データベース登録手数料(1登録ごとに1番号あたり)

平成29年4月1日から平成30年3月31日までの間に適用するための手数料

区 分	金 額 等	備 考
①設備管理運営費	24,587,336 (単位:円)	当該期間の費用について、接続料の料金表第2網改造料の算定式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用及び利益対応税を算定した。 但し、①設備管理運営費のうち、保守運営費相当については、設備管理運営費比率による算定ではなく、保守委託にかかる費用を個別に算定した上で、減価償却費相当及び保守運営費相当に対し、「IX 番号情報データベース登録手数料、料金請求回収代行手数料、光信号端末回線の概算提供可能時期の調査に要する費用、光配線区域情報調査費、ルーティン番号登録工事等受付手数料、同一番号移転可否情報調査費、き線点情報調査費、端末回線情報提供手数料及び申込者情報確認結果即時通知手数料の算定において用いた一般管理費比率」を用いて管理費相当を算出し、設備管理運営費の原価に含めた。
②他人資本費用	10,157 (単位:円)	
③自己資本費用	4,988 (単位:円)	
④利益対応税	2,950 (単位:円)	
⑤合計	24,605,431 (単位:円)	
⑥当該手続の利用件数	108,669 (単位:件)	平成28年度の実績
⑦当該作業に係る手数料	226 (単位:円)	$(\text{⑤}/\text{⑥}) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(3) お客様情報照会書作成手数料(1件ごとに)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	$(\text{①} \times \text{②}) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$
②1の手続に要する作業時間	0.037 (単位:時間)	
③当該作業に係る手数料	223 (単位:円)	

(4) 利用契約締結手数料(1件ごとに)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	$(\text{①} \times \text{②} / 60) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$
②1の手続に要する作業時間	0.051 (単位:分)	
③当該作業に係る手数料	5 (単位:円)	

(5) みなし契約者に関する宛名情報提供手数料(1件ごとに)

平成29年4月1日から平成30年3月31日までの間に適用するための手数料

ア. 原価の算定

区 分	金 額 等	備 考
①設備管理運営費	54,639,834 (単位:円)	①+②+③+④
②他人資本費用	22,572 (単位:円)	
③自己資本費用	9,977 (単位:円)	
④利益対応税	6,008 (単位:円)	
⑤合計	54,678,391 (単位:円)	

イ. 単金の算定

区 分	金 額 等	備 考
①当該期間の料金の合計	54,678,391 (単位:円)	ア. ⑤
②当該手続の利用見込件数	2,503,327 (単位:件)	
③1件あたりの手数料	21.84 (単位:円)	$(\text{①}/\text{②}) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(6) 立会費(1回ごとに)

イ. 第95条の3(接続申込者等が接続に必要な装置等の設置又は保守を行う場合の立入り)第1項第2号に規定する接続に必要な装置等の設置に係る作業を行う場合であって、その装置等(電力設備及び空気調整設備を除きます。)を当社の通信用建物において搬出入する場合
(平日昼間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034(単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	1,592(単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	9,606(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(平日夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,972(単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	1,592(単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	11,099(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(平日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,045(単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	1,592(単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	12,808(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(土日祝日昼夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7,241(単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	1,592(単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	11,528(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(土日祝日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,313(単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	1,592(単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	13,234(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

ウ. 第95条の3第1項第2号に規定する接続に必要な装置等の設置に係る作業を行う場合であって、その装置等を当社の通信用建物内において当社の電気通信設備若しくは電力設備に接続し又は切断する場合

(ア)イ)以外の場合

(平日昼間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034(単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	1,685(単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	10,167(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(平日夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,972(単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	1,685(単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	11,748(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(平日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,045(単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	1,685(単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	13,556(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(土日祝日昼夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7,241(単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	1,685(単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	12,201(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(土日祝日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,313(単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	1,685(単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	14,007(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(イ) 協定事業者の光信号局内伝送路を当社の加入者光主配線盤又は中継光主配線盤に接続し又は切断する場合
(平日昼間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の手続に要する作業時間	1.272 (単位:時間)	
③当該作業に係る手続費	7,675 (単位:円)	$((① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率))$

(平日夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,972 (単位:円)	
②1の手続に要する作業時間	1.272 (単位:時間)	
③当該作業に係る手続費	8,868 (単位:円)	$((① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率))$

(平日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,045 (単位:円)	
②1の手続に要する作業時間	1.272 (単位:時間)	
③当該作業に係る手続費	10,233 (単位:円)	$((① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率))$

(土日祝日昼夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7,241 (単位:円)	
②1の手続に要する作業時間	1.272 (単位:時間)	
③当該作業に係る手続費	9,211 (単位:円)	$((① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率))$

(土日祝日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,313 (単位:円)	
②1の手続に要する作業時間	1.272 (単位:時間)	
③当該作業に係る手続費	10,574 (単位:円)	$((① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率))$

エ. 第95条の3第1項第4号に規定する接続に必要な装置等の設置に着手するに当たって当社とその設置作業の内容について確認及び調整を行う場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の手続に要する作業時間	1.583 (単位:時間)	
③当該作業に係る手続費	9,552 (単位:円)	$((① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率))$

(7) 端末回線線路条件調査費(1回線ごとに)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の手続に要する作業時間	0.167 (単位:時間)	
③当該作業に係る手続費	1,008 (単位:円)	$((① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率))$

(8) 端末回線収容状況調査費(1回線ごとに)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の手続に要する作業時間	0.105 (単位:時間)	
③当該作業に係る手続費	634 (単位:円)	$((① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率))$

(9) DSL回線収容状況調査費(1回線ごとに)

ア. 収容に係る利用制限を満たすか否かを確認等するために収容状況を調査等する費用

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の手続に要する作業時間	0.114 (単位:時間)	
③当該作業に係る手続費	688 (単位:円)	$((① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率))$

イ. 第52条(協定事業者の切分責任等)第3項の規定に基づき、そのDSL回線が事後対策対象回線であるかどうかの事実、及びそのDSL回線を利用する協定事業者名等の調査に要する費用

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の手続に要する作業時間	0.155 (単位:時間)	
③当該作業に係る手続費	935 (単位:円)	$((① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率))$

(10) DSL回線換算線路長等調査費(1回線ごとに)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6.034 (単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	0.118 (単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	712 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(11) 優先接続受付手續費(1変更ごとに)

平成29年4月1日から平成30年3月31日までの間に適用するための手續費

ア. 原価の算定

区 分	金 額 等	備 考
①設備管理運営費	243,102 (単位:千円)	
②他人資本費用	135 (単位:千円)	
③自己資本費用	94 (単位:千円)	
④利益対応税	51 (単位:千円)	
⑤合計	243,382 (単位:千円)	①+②+③+④
⑥当該手續に係る有料登録受付見込み件数	142,150 (単位:件)	
⑦事業者識別番号等変更料	800 (単位:円)	当社電話サービス契約款及び総合デジタル通信サービス契約款に定める手續に関する料金
⑧事業者間精算対象額	129,662 (単位:千円)	$(⑤ - ⑥) \times ⑦ / 1,000$

イ. 単金の算定

区 分	金 額 等	備 考
①事業者間精算対象額	129,133 (単位:千円)	ア. ⑧より損害賠償回収額を除外
②当該手續に係る登録受付見込み区分数	3,590,055 (単位:件)	
③1区分変更あたりの手續費	36 (単位:円)	$(① \times 1,000 / ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(12) 光回線設備線路条件調査費

ア. 光回線設備の伝送損失又はパルス測定結果の調査に要する費用

(ア)基本額(1地点ごとの1調査ごとに)

a. 利用者の建物で測定を行う場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6.034 (単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	1.016 (単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	6,131 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

b. 当社の通信用建物で測定を行う場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6.034 (単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	0.117 (単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	706 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(イ)加算額(1回線ごとの1調査ごとに)

伝送損失又はパルス測定結果の調査を行う場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6.034 (単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	0.133 (単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	803 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

イ. 光回線設備(光信号分岐端末回線を除きます。)の経過年数の調査に要する費用(1区間ごとに)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6.034 (単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	0.267 (単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	1,611 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

ウ. 光信号端末回線の概算提供可能時期の調査に要する費用(1番号又は1住所ごとの1成功検索ごとに)
平成29年4月1日から平成30年3月31日までの間に適用するための手続費

(ア)基本額

a. 原価の算定

区 分	金 額 等	備 考
①設備管理運営費	19,274 (単位:千円)	当該期間の費用について、接続約款の料金表第2網改造料の算定式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用及び利益対応税を算定した。 但し、①設備管理運営費のうち、保守運営費相当については、設備管理運営費比率による算定ではなく、保守委託にかかる費用を個別に算定した上で、減価償却費相当及び保守運営費相当に対し、「IX 番号情報データベース登録手続費、料金請求回収代行手続費、光信号端末回線の概算提供可能時期の調査に要する費用、光配線区域情報調査費、ルーティング番号登録工事等受付手続費、同一番号移転可否情報調査費、き線点情報調査費、端末回線情報提供手続費及び申込者情報確認結果即時通知手続費の算定において用いた一般管理費比率」を用いて管理費相当を算出し、設備管理運営費の原価に含めた。
②他人資本費用	8 (単位:千円)	
③自己資本費用	4 (単位:千円)	
④利益対応税	2 (単位:千円)	
⑤合計	19,288 (単位:千円)	

b. 単金の算定

区 分	金 額 等	備 考
①当該期間の料金の合計	19,288 (単位:千円)	(ア)⑤
②当該手続の利用見込件数	493,255 (単位:千件)	
③1件あたりの手続費	0.04 (単位:円)	$(①/②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(イ)加算額

a. 原価の算定

区 分	金 額 等	備 考
①設備管理運営費	2,967 (単位:千円)	当該期間の費用について、接続約款の料金表第2網改造料の算定式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用及び利益対応税を算定した。 但し、①設備管理運営費のうち、保守運営費相当については、設備管理運営費比率による算定ではなく、保守委託にかかる費用を個別に算定した上で、減価償却費相当及び保守運営費相当に対し、「IX 番号情報データベース登録手続費、料金請求回収代行手続費、光信号端末回線の概算提供可能時期の調査に要する費用、光配線区域情報調査費、ルーティング番号登録工事等受付手続費、同一番号移転可否情報調査費、き線点情報調査費、端末回線情報提供手続費及び申込者情報確認結果即時通知手続費の算定において用いた一般管理費比率」を用いて管理費相当を算出し、設備管理運営費の原価に含めた。
②他人資本費用	1 (単位:千円)	
③自己資本費用	1 (単位:千円)	
④利益対応税	1 (単位:千円)	
⑤合計	2,970 (単位:千円)	

b. 単金の算定

区 分	金 額 等	備 考
①当該期間の料金の合計	2,970 (単位:千円)	(ア)⑤
②当該手続の利用見込件数	493,255 (単位:千件)	
③1件あたりの手続費	0.01 (単位:円)	$(①/②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(13) 相互接続点に係る情報調査費(1通信用建物ごとの1件ごとに)

ア. 接続に必要な装置等を設置するためのキャビネットラック(それを設置するために要するスペースが1基準架を超えないものであって、当社が別に定める設置基準を満たすものに限ります。)を協定事業者が設置する場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$
②1の手続に要する作業時間	1.578 (単位:時間)	
③当該作業に係る手続費	9,522 (単位:円)	

イ. 光信号局内伝送路のみを当社の通信用建物内に協定事業者が設置する場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$
②1の手続に要する作業時間	0.153 (単位:時間)	
③当該作業に係る手続費	923 (単位:円)	

(14) 一般光信号中継回線に係る情報調査費(1区間ごとに)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$
②1の手続に要する作業時間	0.317 (単位:時間)	
③当該作業に係る手続費	1,913 (単位:円)	

(15) 光信号端末回線の事前照会に係る情報調査費(1区間ごとに)

ア. 提供可能時期の調査に要する費用

(ア)光信号端末回線(既に設置された当社の光屋内配線を除きます。)に係る情報を提供する場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034(単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	0.685(単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	4,133(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(イ)既に設置された当社の光屋内配線に係る情報を提供する場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034(単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	2,033(単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	12,267(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

イ. 伝送損失の調査に要する費用

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034(単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	0.458(単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	2,764(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(16) 自前工事調整等作業費(1通信用建物ごとの1件ごとに)

ア. 接続に必要な装置等の設置に付随する設計に要する費用

(ア)接続に必要な装置等を設置するためのキャビネットラックを接続申込者が設置する場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034(単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	8,003(単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	48,290(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(イ)接続に必要な装置等を当社の電力設備、クロック供給装置又はその他の電気通信設備のいずれか2種類以上に接続する場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034(単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	5.56(単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	33,549(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(ウ)接続に必要な装置等を当社の電力設備、クロック供給装置又はその他の電気通信設備のいずれか1種類に接続する場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034(単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	3,335(単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	20,123(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(エ)複数のキャビネットラックに設置された、1の接続申込者に係る接続に必要な装置等相互間を接続する場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034(単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	2,982(単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	17,993(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

イ. 接続に必要な装置等の設置の結果の確認に要する費用

(ア)接続に必要な装置等を設置するためのキャビネットラックを接続申込者が設置する場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034(単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	1.403(単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	8,466(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(イ)接続に必要な装置等を当社の電力設備、クロック供給装置又はその他の電気通信設備のいずれか2種類以上に接続する場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034(単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	1,357(単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	8,188(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(ウ)接続に必要な装置等を当社の電力設備、クロック供給装置又はその他の電気通信設備のいずれか1種類に接続する場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034(単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	1.07(単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	6,456(単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(エ)複数のキャビネットラックに設置された、1の接続申込者に係る接続に必要な装置等相互間を接続する場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の接続に要する作業時間	1,055 (単位:時間)	
③当該作業に係る接続費	6,366 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

ウ. 接続に必要な装置等の撤去の結果の確認に要する費用

(ア) (イ)以外の場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の接続に要する作業時間	1,033 (単位:時間)	
③当該作業に係る接続費	6,233 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(イ)確認の対象が接続に必要な装置等を設置するためのキャビネットラック内に終始し、接続申込者が撮影した写真により確認を行う場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の接続に要する作業時間	0,467 (単位:時間)	
③当該作業に係る接続費	2,818 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

エ. 接続に必要な装置等の撤去に伴う設備情報の変更管理に要する費用

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の接続に要する作業時間	0,883 (単位:時間)	
③当該作業に係る接続費	5,328 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

(17) 光配線区域情報調査費(1通信用建物ごとに)

ア. 第99条の6(光回線設備に係る情報の提供)第3項第1号に規定する光配線区域の範囲に係る情報を提供する場合に要する費用

平成29年4月1日から平成30年3月31日までの間に適用するための接続費

(ア)原価の算定

区 分	金 額 等	備 考
①設備管理運営費	495,703 (単位:円)	当該期間の費用について、接続約款の料金表第2網改造料の算定式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用及び利益対応税を算定した。 但し、①設備管理運営費のうち、保守運営費相当については、設備管理運営費比率による算定ではなく、保守委託にかかる費用を個別に算定した上で、減価償却費相当及び保守運営費相当に対し、「IX 番号情報データベース登録手続費、料金請求回収代行手続費、光信号端末回線の概算提供可能時期の調査に要する費用、光配線区域情報調査費、ルーティング番号登録工事等受付手続費、同一番号移転可否情報調査費、き線点情報調査費、端末回線情報提供手続費及び申込者情報確認結果即時通知手続費の算定において用いた一般管理費比率」を用いて管理費相当を算出し、設備管理運営費の原価に含めた。
②他人資本費用	205 (単位:円)	
③自己資本費用	91 (単位:円)	
④利益対応税	55 (単位:円)	
⑤合計	496,054 (単位:円)	

(イ)単金の算定

区 分	金 額 等	備 考
①当該期間の料金の合計	496,054 (単位:円)	ア. ⑤
②当該接続の利用見込対象ビル数	43 (単位:ビル)	
③1通信用建物あたりの接続費	11,536 (単位:円)	$(① / ②) \times (1 + 「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)$

イ. 第99条の6(光回線設備に係る情報の提供)第3項第2号に規定する光配線区域に設置されている全ての電柱等の座標に係る情報を提供する場合に要する費用
平成29年4月1日から平成30年3月31日までの間に適用するための手数料

(ア) 原価の算定

区 分	金 額 等	備 考
①設備管理運営費	146,297 (単位:円)	当該期間の費用について、接続約款の料金表第2網改造料の算定式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用及び利益対応税を算定した。
②他人資本費用	60 (単位:円)	但し、①設備管理運営費のうち、保守運営費相当については、設備管理運営費比率による算定ではなく、保守委託にかかる費用を個別に算定した上で、減価償却費相当及び保守運営費相当に対し、「IX 番号情報データベース登録手数料、料金請求回収代行手数料、光信号端末回線の概算提供可能時期の調査に要する費用、光配線区域情報調査費、ルーティング番号登録工事等受付手数料、同一番号移転可否情報調査費、き線点情報調査費、端末回線情報提供手数料及び申込者情報確認結果即時通知手数料の算定において用いた一般管理費比率」を用いて管理費相当を算出し、設備管理運営費の原価に含めた。
③自己資本費用	27 (単位:円)	
④利益対応税	16 (単位:円)	
⑤合計	146,400 (単位:円)	①+②+③+④

(イ) 単金の算定

区 分	金 額 等	備 考
①当該期間の料金の合計	146,400 (単位:円)	(ア)⑤
②当該手続の利用見込対象ビル数	21 (単位:ビル)	
③1通信用建物あたりの手数料	6,971 (単位:円)	$(①/②) \times (1+Ⅲ \text{ 料金算定に使用した貸倒率})$

ウ. 第99条の6(光回線設備に係る情報の提供)第3項第3号に規定する光配線区域内の加入電話等敷設数に係る情報を提供する場合に要する費用
平成29年4月1日から平成30年3月31日までの間に適用するための手数料

(ア) 原価の算定

区 分	金 額 等	備 考
①設備管理運営費	4,038,405 (単位:円)	当該期間の費用について、接続約款の料金表第2網改造料の算定式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用及び利益対応税を算定した。
②他人資本費用	1,668 (単位:円)	但し、①設備管理運営費のうち、保守運営費相当については、設備管理運営費比率による算定ではなく、保守委託にかかる費用を個別に算定した上で、減価償却費相当及び保守運営費相当に対し、「IX 番号情報データベース登録手数料、料金請求回収代行手数料、光信号端末回線の概算提供可能時期の調査に要する費用、光配線区域情報調査費、ルーティング番号登録工事等受付手数料、同一番号移転可否情報調査費、き線点情報調査費、端末回線情報提供手数料及び申込者情報確認結果即時通知手数料の算定において用いた一般管理費比率」を用いて管理費相当を算出し、設備管理運営費の原価に含めた。
③自己資本費用	737 (単位:円)	
④利益対応税	449 (単位:円)	
⑤合計	4,041,259 (単位:円)	①+②+③+④

(イ) 単金の算定

区 分	金 額 等	備 考
①当該期間の料金の合計	4,041,259 (単位:円)	(ア)⑤
②当該手続の利用見込対象ビル数	1,733 (単位:ビル)	
③1通信用建物あたりの手数料	2,332 (単位:円)	$(①/②) \times (1+Ⅲ \text{ 料金算定に使用した貸倒率})$

(18)ルーティング番号登録工事等受付手数料(1件ごとに)

ア.イ以外の場合

平成29年4月1日から平成30年3月31日までの間に適用するための手数料

(ア)原価の算定

区 分	金 額 等	備 考
①設備管理運営費	102,000,435 (単位:円)	当該期間の費用について、接続約款の料金表第2網改造料の算定式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用及び利益対応税を算定した。 但し、①設備管理運営費のうち、保守運営費相当については、設備管理運営費比率による算定ではなく、保守委託にかかる費用を個別に算定した上で、減価償却費相当及び保守運営費相当に対し、「IX 番号情報データベース登録手数料、料金請求回収代行手数料、光信号端末回線の概算提供可能時期の調査に要する費用、光配線区域情報調査費、ルーティング番号登録工事等受付手数料、同一番号移転可否情報調査費、き線点情報調査費、端末回線情報提供手数料及び申込者情報確認結果即時通知手数料の算定において用いた一般管理費比率」を用いて管理費相当を算出し、設備管理運営費の原価に含めた。
②他人資本費用	42,136 (単位:円)	
③自己資本費用	18,624 (単位:円)	
④利益対応税	11,216 (単位:円)	
⑤合計	102,072,411 (単位:円)	①+②+③+④

(イ)料金の算定

区 分	金 額 等	備 考
①当該期間の料金の合計	102,072,411 (単位:円)	(ア)⑤
②当該手続の利用見込件数	1,942,302	
③1件あたりの手续费	53 (単位:円)	$(①/②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

イ.ルーティング番号等削除工事(ルーティング番号のみを削除する場合に限ります。)又はルーティング番号変更工事を行う場合

平成29年4月1日から平成30年3月31日までの間に適用するための手数料

(ア)原価の算定

区 分	金 額 等	備 考
①設備管理運営費	48,074,835 (単位:円)	当該期間の費用について、接続約款の料金表第2網改造料の算定式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用及び利益対応税を算定した。 但し、①設備管理運営費のうち、保守運営費相当については、設備管理運営費比率による算定ではなく、保守委託にかかる費用を個別に算定した上で、減価償却費相当及び保守運営費相当に対し、「IX 番号情報データベース登録手数料、料金請求回収代行手数料、光信号端末回線の概算提供可能時期の調査に要する費用、光配線区域情報調査費、ルーティング番号登録工事等受付手数料、同一番号移転可否情報調査費、き線点情報調査費、端末回線情報提供手数料及び申込者情報確認結果即時通知手数料の算定において用いた一般管理費比率」を用いて管理費相当を算出し、設備管理運営費の原価に含めた。
②他人資本費用	19,860 (単位:円)	
③自己資本費用	8,778 (単位:円)	
④利益対応税	5,286 (単位:円)	
⑤合計	48,108,759 (単位:円)	①+②+③+④

(イ)料金の算定

区 分	金 額 等	備 考
①当該期間の料金の合計	48,108,759 (単位:円)	(ア)⑤
②当該手続の利用見込件数	858,546	
③1件あたりの手续费	109 (単位:円)	$(①/②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率}) + \text{ア(イ)③}$

- (19) 同一番号移転可否情報調査費(1電気通信番号ごとの1件ごとに)
平成29年4月1日から平成30年3月31日までの間に適用するための手続費
ア.原価の算定
(ア)情報提供システムに係る費用

区 分	金 額 等	備 考
①設備管理運営費	52,103 (単位:円)	当該期間の費用について、接続約款の料金表第2網改造料の算定式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用及び利益対応税を算定した。 但し、①設備管理運営費のうち、保守運営費相当については、設備管理運営費比率による算定ではなく、保守委託にかかる費用を個別に算定した上で、減価償却費相当及び保守運営費相当に対し、「IX 番号情報データベース登録手続費、料金請求回収代行手続費、光信号端末回線の概算提供可能時期の調査に要する費用、光配線区域情報調査費、ルーティング番号登録工事等受付手続費、同一番号移転可否情報調査費、き線点情報調査費、端末回線情報提供手続費及び申込者情報確認結果即時通知手続費の算定において用いた一般管理費比率」を用いて管理費相当を算出し、設備管理運営費の原価に含めた。
②他人資本費用	21 (単位:円)	
③自己資本費用	10 (単位:円)	
④利益対応税	5 (単位:円)	
⑤合計	52,139 (単位:円)	①+②+③+④
⑥情報提供システムの利用見込件数	111,250 (単位:件)	
⑦情報提供システムに係る1件あたりの料金	0.5 (単位:円)	⑤/⑥

(イ)情報提供作業に係る費用(当社が指定した電気通信回線設備を通じて申込を行う場合以外)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,116 (単位:円)	
②1の手続に要する作業時間	0.123 (単位:時間)	
③当該作業に係る料金	752 (単位:円)	①×②

(ウ)情報提供作業に係る費用(当社が指定した電気通信回線設備を通じて申込を行う場合)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,116 (単位:円)	
②1の手続に要する作業時間	0.033 (単位:時間)	
③当該作業に係る料金	202 (単位:円)	①×②

イ.単金の算定

(ア)(イ)以外の場合

区 分	金 額 等	備 考
①情報提供システムに係る料金	0.5 (単位:円)	ア(ア)⑦
②情報提供作業に係る料金	752 (単位:円)	ア(イ)③
③1件あたりの手続費	753 (単位:円)	(①+②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV.料金設定に使用した貸倒率)

(イ)当社が指定した電気通信回線設備を通じて調査を行う場合

区 分	金 額 等	備 考
①情報提供システムに係る料金	0.5 (単位:円)	ア(ア)⑦
②情報提供作業に係る料金	202 (単位:円)	ア(ウ)③
③申込受付システムに係る料金	109 (単位:円)	(18)ルーティング番号登録工事等受付手続費イ(イ)③より
④1件あたりの手続費	312 (単位:円)	(①+②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV.料金設定に使用した貸倒率)+③

- (20) き線点情報調査費(1通信用建物ごとに)
平成29年4月1日から平成30年3月31日までの間に適用するための手続費
ア.原価の算定

区 分	金 額 等	備 考
①設備管理運営費	5,759,415 (単位:円)	当該期間の費用について、接続約款の料金表第2網改造料の算定式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用及び利益対応税を算定した。 但し、①設備管理運営費のうち、保守運営費相当については、設備管理運営費比率による算定ではなく、保守委託にかかる費用を個別に算定した上で、減価償却費相当及び保守運営費相当に対し、「IX 番号情報データベース登録手続費、料金請求回収代行手続費、光信号端末回線の概算提供可能時期の調査に要する費用、光配線区域情報調査費、ルーティング番号登録工事等受付手続費、同一番号移転可否情報調査費、き線点情報調査費、端末回線情報提供手続費及び申込者情報確認結果即時通知手続費の算定において用いた一般管理費比率」を用いて管理費相当を算出し、設備管理運営費の原価に含めた。
②他人資本費用	2,379 (単位:円)	
③自己資本費用	1,052 (単位:円)	
④利益対応税	633 (単位:円)	
⑤合計	5,763,479 (単位:円)	①+②+③+④

イ.単金の算定

区 分	金 額 等	備 考
①当該期間の料金の合計	5,763,479 (単位:円)	ア.⑤
②当該手続きの利用見込件数	606 (単位:件)	
③作業単金	6,065 (単位:円)	
④1の手続に要する作業時間	1,300 (単位:時間)	
⑤当該作業に係る手続費	17,396 (単位:円)	[(①/②)+(③×④)]×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV.料金設定に使用した貸倒率)

(21) 基線点換算線路長調査費(1電柱ごとに)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	0.118 (単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	712 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(22) メタリック加入者線と電柱に設置する接続に必要な装置等との接続可否調査費(1電柱ごとに)

ア. 机上調査を行う場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	0.237 (単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	1,430 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

イ. 現地調査を行う場合

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	2.133 (単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	12,871 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(23) 接続工事等時刻指定手續費(1件ごとに)

(平日昼間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	1.113 (単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	6,716 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(平日夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,972 (単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	2.377 (単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	16,572 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(平日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,045 (単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	3.434 (単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	27,627 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(土日祝日昼間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7,241 (単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	1.113 (単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	8,059 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(土日祝日夜間)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	7,241 (単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	2.377 (単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	17,212 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(土日祝日深夜)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	8,313 (単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	3.434 (単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	28,547 (単位:円)	$(① \times ②) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(24) 端末回線情報提供手続費(月額)

平成29年4月1日から平成30年3月31日までの間に適用するための手続費
ア. 原価の算定

区 分	金 額 等	備 考
①設備管理運営費	19,233 (単位:千円)	当該期間の費用について、接続約款の料金表第2網改造料の算定式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用及び利益対応税を算定した。 但し、①設備管理運営費のうち、保守運営費相当については、設備管理運営費比率による算定ではなく、保守委託にかかる費用を個別に算定した上で、減価償却費相当及び保守運営費相当に対し、「IX 番号情報データベース登録手続費、料金請求回収代行手続費、光信号端末回線の概算提供可能時期の調査に要する費用、光配線区域情報調査費、ルーティング番号登録工事等受付手続費、同一番号移転可否情報調査費、き線点情報調査費、端末回線情報提供手続費及び申込者情報確認結果即時通知手続費の算定において用いた一般管理費比率」を用いて管理費相当を算出し、設備管理運営費の原価に含めた。
②他人資本費用	8 (単位:千円)	
③自己資本費用	4 (単位:千円)	
④利益対応税	2 (単位:千円)	
⑤合計	19,247 (単位:千円)	

イ. 料金の算定

区 分	金 額 等	備 考
①当該期間の料金の合計	19,247 (単位:千円)	ア. ⑤
②当該作業に係る手続費(月額)	1,604 (単位:千円)	(①÷12ヶ月)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(25) テープ分散による光信号端末回線の確認及びテープ分散可否調査費(1区間ごとに)

ア. 第34条の10(光信号端末回線のテープ分散に係る確認調査及び接続の申込み)第1項に規定する事項の調査に要する費用

(ア) 光局外スプリッタを含まないもの同士の組み合わせに係るもの

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)
②1の手続に要する作業時間	0.367 (単位:時間)	
③当該作業に係る手続費	2,214 (単位:円)	

(イ) 光局外スプリッタを含まないものと光局外スプリッタを含むものの組み合わせに係るもの

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)
②1の手続に要する作業時間	0.450 (単位:時間)	
③当該作業に係る手続費	2,715 (単位:円)	

イ. 第34条の10第2項に規定する事項の調査に要する費用

(ア) 光局外スプリッタを含まないもの同士の組み合わせに係るもの

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)
②1の手続に要する作業時間	0.343 (単位:時間)	
③当該作業に係る手続費	2,070 (単位:円)	

(イ) 光局外スプリッタを含まないものと光局外スプリッタを含むものの組み合わせに係るもの

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)
②1の手続に要する作業時間	0.427 (単位:時間)	
③当該作業に係る手続費	2,577 (単位:円)	

ウ. 第34条の10第3項に規定する事項の調査に要する費用

(ア) 光局外スプリッタを含まないもの同士の組み合わせに係るもの

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)
②1の手続に要する作業時間	0.343 (単位:時間)	
③当該作業に係る手続費	2,070 (単位:円)	

(イ) 光局外スプリッタを含まないものと光局外スプリッタを含むものの組み合わせに係るもの

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	(①×②)×(1+「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)
②1の手続に要する作業時間	0.478 (単位:時間)	
③当該作業に係る手続費	2,884 (単位:円)	

(26) 申込者情報確認結果即時通知手続費(月額)

平成29年4月1日から平成30年3月31日までの間に適用するための手続費
ア. 原価の算定

区 分	金 額 等	備 考
①設備管理運営費	18,976,752 (単位:円)	当該期間の費用について、接続約款の料金表第2網改造料の算定式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用及び利益対応税を算定した。 但し、①設備管理運営費のうち、保守運営費相当については、設備管理運営費比率による算定ではなく、保守委託にかかる費用を個別に算定した上で、減価償却費相当及び保守運営費相当に対し、「IX 番号情報データベース登録手続費、料金請求回収代行手続費、光信号端末回線の概算提供可能時期の調査に要する費用、光配線区域情報調査費、ルーティング番号登録工事等受付手続費、同一番号移転可否情報調査費、き線点情報調査費、端末回線情報提供手続費及び申込者情報確認結果即時通知手続費の算定において用いた一般管理費比率」を用いて管理費相当を算出し、設備管理運営費の原価に含めた。
②他人資本費用	2,613 (単位:円)	
③自己資本費用	1,155 (単位:円)	
④利益対応税	696 (単位:円)	
⑤合計	18,981,216 (単位:円)	

イ. 料金の算定

区 分	金 額 等	備 考
①当該期間の料金の合計	18,981,216 (単位:円)	ア. ⑤
②当該作業に係る手続費(月額)	1,581,768 (単位:円)	$(\text{①} \div 12 \text{ヶ月}) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(27) 光信号分岐端末回線工事日予約可否調査費(1調査件数ごとに)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,034 (単位:円)	$(\text{①} \times \text{②}) \times (1 + \text{「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$
②1の手続に要する作業時間	1,200 (単位:時間)	
③当該作業に係る手続費	7,241 (単位:円)	

(28) みなし契約者に関する宛名情報提供手続費(1件ごとに)

平成28年4月1日から平成29年3月31日までの利用実績に適用する精算のための手続費
ア. 原価の算定

区 分	金 額 等	備 考
①設備管理運営費	54,672,299 (単位:円)	①+②+③+④
②他人資本費用	20,034 (単位:円)	
③自己資本費用	10,336 (単位:円)	
④利益対応税	5,521 (単位:円)	
⑤合計	54,708,190 (単位:円)	

イ. 単金の算定

区 分	金 額 等	備 考
①当該期間の料金の合計	54,708,190 (単位:円)	ア. ⑤
②当該手続の利用件数	2,503,327 (単位:件)	平成28年度の実績
③1件あたりの手続費	21.85 (単位:円)	$(\text{①} / \text{②}) \times (1 + \text{実際費用方式による平成29年度「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(29) 優先接続受付手続費(1変更ごとに)

平成28年4月1日から平成29年3月31日までの利用実績に適用する精算のための手続費
ア. 原価の算定

区 分	金 額 等	備 考
①設備管理運営費	236,239 (単位:千円)	①+②+③+④
②他人資本費用	130 (単位:千円)	
③自己資本費用	103 (単位:千円)	
④利益対応税	51 (単位:千円)	
⑤合計	236,523 (単位:千円)	
⑥当該手続に係る有料登録受付件数	60,571 (単位:件)	当社電話サービス契約約款及び総合デジタル通信サービス契約約款に定める手続に関する料金
⑦事業者識別番号等変更料	800 (単位:円)	
⑧事業者間精算対象額	188,066 (単位:千円)	

イ. 単金の算定

区 分	金 額 等	備 考
①事業者間精算対象額	187,361 (単位:千円)	ア. ⑧より損害賠償回収額を除外
②当該手続に係る登録受付区分数	3,733,349 (単位:件)	平成28年度の実績
③1区分変更あたりの手続費	50 (単位:円)	$(\text{①} \times 1,000 / \text{②}) \times (1 + \text{実際費用方式による平成29年度「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(30) 光回線設備線路条件調査費

ウ. 光信号端末回線の概算提供可能時期の調査に要する費用(1番号又は1住所ごとの1成功検索ごとに)

(ア)基本額

平成28年4月1日から平成29年3月31日までの利用実績に適用する精算のための手続費

a. 原価の算定

区 分	金 額 等	備 考
①設備管理運営費	17,741 (単位:千円)	当該期間の費用について、接続約款の料金表第2網改造料の算定式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用及び利益対応税を算定した。 但し、①設備管理運営費のうち、保守運営費相当については、設備管理運営費比率による算定ではなく、保守委託にかかる費用を個別に算定した上で、減価償却費相当及び保守運営費相当に対し、「IX 番号情報データベース登録手続費、料金請求回収代行手続費、光信号端末回線の概算提供可能時期の調査に要する費用、光配線区域情報調査費、ルーティング番号登録工事等受付手続費、同一番号移転可否情報調査費、き線点情報調査費、端末回線情報提供手続費及び申込者情報確認結果即時通知手続費の算定において用いた一般管理費比率」を用いて管理費相当を算出し、設備管理運営費の原価に含めた。
②他人資本費用	7 (単位:千円)	
③自己資本費用	4 (単位:千円)	
④利益対応税	2 (単位:千円)	
⑤合計	17,754 (単位:千円)	

b. 単金の算定

区 分	金 額 等	備 考
①当該期間の料金の合計	17,754 (単位:千円)	(ア)⑤
②当該手続の利用件数	497,462 (単位:千件)	平成28年度の実績
③1件あたりの手続費	0.04 (単位:円)	$(①/②) \times (1 + \text{実際費用方式による平成29年度「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(イ)加算額

平成28年4月1日から平成29年3月31日までの利用実績に適用する精算のための手続費

a. 原価の算定

区 分	金 額 等	備 考
①設備管理運営費	2,820 (単位:千円)	当該期間の費用について、接続約款の料金表第2網改造料の算定式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用及び利益対応税を算定した。 但し、①設備管理運営費のうち、保守運営費相当については、設備管理運営費比率による算定ではなく、保守委託にかかる費用を個別に算定した上で、減価償却費相当及び保守運営費相当に対し、「IX 番号情報データベース登録手続費、料金請求回収代行手続費、光信号端末回線の概算提供可能時期の調査に要する費用、光配線区域情報調査費、ルーティング番号登録工事等受付手続費、同一番号移転可否情報調査費、き線点情報調査費、端末回線情報提供手続費及び申込者情報確認結果即時通知手続費の算定において用いた一般管理費比率」を用いて管理費相当を算出し、設備管理運営費の原価に含めた。
②他人資本費用	1 (単位:千円)	
③自己資本費用	1 (単位:千円)	
④利益対応税	0 (単位:千円)	
⑤合計	2,822 (単位:千円)	

b. 単金の算定

区 分	金 額 等	備 考
①当該期間の料金の合計	2,822 (単位:千円)	(ア)⑤
②当該手続の利用件数	497,462 (単位:千件)	平成28年度の実績
③1件あたりの手続費	0.01 (単位:円)	$(①/②) \times (1 + \text{実際費用方式による平成29年度「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(31) 光配線区域情報調査費(1通信用建物ごとに)

ア. 第99条の6(光回線設備に係る情報の提供)第3項第1号に規定する光配線区域の範囲に係る情報を提供する場合に要する費用
平成28年4月1日から平成29年3月31日までの利用実績に適用する精算のための手続費

(ア) 原価の算定

区 分	金 額 等	備 考
①設備管理運営費	1,300,638 (単位:円)	当該期間の費用について、接続約款の料金表第2網改造料の算定式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用及び利益対応税を算定した。 但し、①設備管理運営費のうち、保守運営費相当については、設備管理運営費比率による算定ではなく、保守委託にかかる費用を個別に算定した上で、減価償却費相当及び保守運営費相当に対し、「IX 番号情報データベース登録手続費、料金請求回収代行手続費、光信号端末回線の概算提供可能時期の調査に要する費用、光配線区域情報調査費、ルーティング番号登録工事等受付手続費、同一番号移転可否情報調査費、き線点情報調査費、端末回線情報提供手続費及び申込者情報確認結果即時通知手続費の算定において用いた一般管理費比率」を用いて管理費相当を算出し、設備管理運営費の原価に含めた。
②他人資本費用	502 (単位:円)	
③自己資本費用	259 (単位:円)	
④利益対応税	139 (単位:円)	
⑤合計	1,301,538 (単位:円)	

(イ) 単金の算定

区 分	金 額 等	備 考
①当該期間の料金の合計	1,301,538 (単位:円)	ア. ⑤
②当該手続の利用対象ビル数	136 (単位:ビル)	平成28年度の実績
③1通信用建物あたりの手続費	9,570 (単位:円)	$(\text{①}/\text{②}) \times (1 + \text{実際費用方式による平成29年度「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

イ. 第99条の6(光回線設備に係る情報の提供)第3項第2号に規定する光配線区域に設置されている全ての電柱等の座標に係る情報を提供する場合に要する費用
平成28年4月1日から平成29年3月31日までの利用実績に適用する精算のための手続費

(ア) 原価の算定

区 分	金 額 等	備 考
①設備管理運営費	73,753 (単位:円)	当該期間の費用について、接続約款の料金表第2網改造料の算定式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用及び利益対応税を算定した。 但し、①設備管理運営費のうち、保守運営費相当については、設備管理運営費比率による算定ではなく、保守委託にかかる費用を個別に算定した上で、減価償却費相当及び保守運営費相当に対し、「X 番号情報データベース登録手続費、料金請求回収代行手続費、光信号端末回線の概算提供可能時期の調査に要する費用、光配線区域情報調査費、ルーティング番号登録工事等受付手続費、同一番号移転可否情報調査費、き線点情報調査費、端末回線情報提供手続費及び申込者情報確認結果即時通知手続費の算定において用いた一般管理費比率」を用いて管理費相当を算出し、設備管理運営費の原価に含めた。
②他人資本費用	2 (単位:円)	
③自己資本費用	2 (単位:円)	
④利益対応税	1 (単位:円)	
⑤合計	73,758 (単位:円)	

(イ) 単金の算定

区 分	金 額 等	備 考
①当該期間の料金の合計	73,758 (単位:円)	(ア) ⑤
②当該手続の利用対象ビル数	11 (単位:ビル)	平成28年度の実績
③1通信用建物あたりの手続費	6,705 (単位:円)	$(\text{①}/\text{②}) \times (1 + \text{実際費用方式による平成29年度「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

(32)ルーティング番号登録工事等受付手続費(1件ごとに)

ア.イ以外の場合

平成28年4月1日から平成29年3月31日までの利用実績に適用する精算のための手続費

(ア)原価の算定

区 分	金 額 等	備 考
①設備管理運営費	100,173,747 (単位:円)	当該期間の費用について、接続約款の料金表第2網改造料の算定式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用及び利益対応税を算定した。 但し、①設備管理運営費のうち、保守運営費相当については、設備管理運営費比率による算定ではなく、保守委託にかかる費用を個別に算定した上で、減価償却費相当及び保守運営費相当に対し、「IX 番号情報データベース登録手続費、料金請求回収代行手続費、光信号端末回線の概算提供可能時期の調査に要する費用、光配線区域情報調査費、ルーティング番号登録工事等受付手続費、同一番号移転可否情報調査費、き線点情報調査費、端末回線情報提供手続費及び申込者情報確認結果即時通知手続費の算定において用いた一般管理費比率」を用いて管理費相当を算出し、設備管理運営費の原価に含めた。
②他人資本費用	38,598 (単位:円)	
③自己資本費用	19,913 (単位:円)	
④利益対応税	10,636 (単位:円)	
⑤合計	100,242,894 (単位:円)	

(イ)単金の算定

区 分	金 額 等	備 考
①当該期間の料金の合計	100,242,894 (単位:円)	(ア)⑤
②当該手続の利用件数	2,016,026 (単位:件)	平成28年度の実績
③1件あたりの手続費	50 (単位:円)	$(\text{①} \div \text{②}) \times (1 + \text{実際費用方式による平成29年度「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率})$

イ. ルーティング番号等削除工事(ルーティング番号のみ削除するに限ります。)又はルーティング番号変更工事費を行う場合

平成28年4月1日から平成29年3月31日までの利用実績に適用する精算のための手続費

(ア)原価の算定

区 分	金 額 等	備 考
①設備管理運営費	48,074,835 (単位:円)	当該期間の費用について、接続約款の料金表第2網改造料の算定式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用及び利益対応税を算定した。 但し、①設備管理運営費のうち、保守運営費相当については、設備管理運営費比率による算定ではなく、保守委託にかかる費用を個別に算定した上で、減価償却費相当及び保守運営費相当に対し、「IX 番号情報データベース登録手続費、料金請求回収代行手続費、光信号端末回線の概算提供可能時期の調査に要する費用、光配線区域情報調査費、ルーティング番号登録工事等受付手続費、同一番号移転可否情報調査費、き線点情報調査費、端末回線情報提供手続費及び申込者情報確認結果即時通知手続費の算定において用いた一般管理費比率」を用いて管理費相当を算出し、設備管理運営費の原価に含めた。
②他人資本費用	18,524 (単位:円)	
③自己資本費用	9,557 (単位:円)	
④利益対応税	5,105 (単位:円)	
⑤合計	48,108,021 (単位:円)	

(イ)単金の設定

区 分	金 額 等	備 考
①当該期間の料金の合計	48,108,021 (単位:円)	(ア)⑤
②当該手続の利用件数	944,771	平成28年度の実績
③1件あたりの手続費	101 (単位:円)	$(\text{①} \div \text{②}) \times (1 + \text{実際費用方式による平成29年度「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率}) + (32) \text{ア} \text{イ} \text{③}$

(33) 同一番号移転可否情報調査費(1電気通信番号ごとの1件ごとに)
平成28年4月1日から平成29年3月31日までの利用実績に適用する精算のための手続費
ア. 原価の算定

(ア) 情報提供システムに係る費用

区 分	金 額 等	備 考
①設備管理運営費	52,589	
②他人資本費用	20 (単位:円)	
③自己資本費用	11 (単位:円)	
④利益対応税	5 (単位:円)	
⑤合計	52,625 (単位:円)	①+②+③+④
⑥情報提供システムの利用件数	121,090 (単位:件)	平成28年度の実績
⑦情報提供システムに係る1件あたりの料金	0.4 (単位:円)	⑤/⑥

(イ) 情報提供作業に係る費用(当社が指定した電気通信回線設備を通じて申込を行う場合以外)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,116 (単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	0.123 (単位:時間)	
③当該作業に係る料金	752 (単位:円)	①×②

(ウ) 情報提供作業に係る費用(当社が指定した電気通信回線設備を通じて申込を行う場合)

区 分	金 額 等	備 考
①作業単金(1時間あたり)	6,116 (単位:円)	
②1の手續に要する作業時間	0.033 (単位:時間)	
③当該作業に係る手續費	202 (単位:円)	①×②

イ. 単金の算定

(ア) (イ) 以外の場合

区 分	金 額 等	備 考
①情報提供システムに係る料金	0.4 (単位:円)	ア(ア)⑦
②情報提供作業に係る料金	752 (単位:円)	ア(イ)③
③1件あたりの手続費	752 (単位:円)	(①+②) × (1+実際費用方式による平成29年度「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率)

(イ) 当社が指定した電気通信回線設備を通じて申込を行う場合

区 分	金 額 等	備 考
①情報提供システムに係る料金	0.4 (単位:円)	ア(ア)⑦
②情報提供作業に係る料金	202 (単位:円)	ア(イ)③
③申込受付システムに係る料金	101 (単位:円)	(32) ルーティング番号登録工事等受付手續費 イ(イ)③より
④1件あたりの手続費	303 (単位:円)	((①+②) × (1+実際費用方式による平成29年度「網使用料算定根拠」記載のXIV. 料金設定に使用した貸倒率) + ③)

IV 一般管理費比率

区 分	比 率 等	備 考
①管理費	70,914 (単位:百万円)	「網使用料算定根拠」記載の設備区分別の費用明細表より
②直接費	650,594 (単位:百万円)	「網使用料算定根拠」記載の設備区分別の費用明細表より
③管理費比率	10.9% (単位:%)	①/②
④報酬率	0.06% (単位:%)	I 作業単金(5)報酬率③ 参照
⑤利益対応税率(報酬全体に対する比率)	19.0% (単位:%)	I 作業単金(6)利益対応税率④ 参照
⑥一般管理費比率	11.0% (単位:%)	$1 \times ③ + (1 + 1 \times ③) \times ④ + ((1 + 1 \times ③) \times ④) \times ⑤$

V 電力設備等の年額料金の算定に適用する比率

(1)取付費比率

平成28年度に完了した工事から下記の固定資産区分毎に工事費等を把握し、平均的な物品費と取付費の割合で算定

区 分	調査数	①物品費 (千円/工事)	②直接工事費 (千円/工事)	③取付費(②-①) (千円/工事)	取付費比率(③/①)
受電設備	31	1,381	2,884	1,503	1.088
発電設備	6	6,558	11,351	4,793	0.731
電源設備及び蓄電池設備	79	10,840	19,511	8,671	0.800
空気調整設備	75	2,683	8,287	5,604	2.089

(2)設備管理運営費比率

(ア)電力設備及び空気調整設備

区 分	通信料対応設備合計及び データ系設備合計の合計	備 考
①取得固定資産価額	291,575 (単位:百万円)	(参考1)設備区分別固定資産明細表(通信料対応設備合計及びデータ系設備合計の合計の内訳)より(建物・構築物・土地・建設仮勘定除く)
②設備管理運営費	23,575 (単位:百万円)	(参考2)設備区分別の費用明細表(通信料対応設備合計及びデータ系設備合計の合計の内訳)より
(再掲)③減価償却費	12,464 (単位:百万円)	(参考2)設備区分別の費用明細表(通信料対応設備合計及びデータ系設備合計の合計の内訳)より
④設備管理運営費(減価償却費除く)	11,111 (単位:百万円)	②-③
⑤設備管理運営費比率(減価償却費除く)	0.038	④/①

(イ)その他の設備

区 分	通信料対応設備合計及び データ系設備合計の合計	備 考
①取得固定資産価額	2,409,222 (単位:百万円)	設備区分別固定資産明細表より(建物・構築物・土地・建設仮勘定除く)
②設備管理運営費	248,829 (単位:百万円)	設備区分別の費用明細表より
(再掲)③減価償却費	89,783 (単位:百万円)	設備区分別の費用明細表より
④設備管理運営費(減価償却費除く)	159,046 (単位:百万円)	②-③
⑤設備管理運営費比率(減価償却費除く)	0.066	④/①

VI 設備使用料の料金算定に採用する自己資本利益率

「網使用料算定根拠」による。

Ⅶ 光信号引込等設備に係る負担額

平成29年4月1日から平成30年3月31日までの間に適用するための負担額

1. 光信号引込等設備の維持等に係る負担額(1光信号引込等設備ごとに月額)

(1) 光信号引込等設備維持負担額

a. (イ) 当社の光屋内配線(主として一戸建ての建物に設置される形態により設置するものに限り、)が設置されていないもの

① 当社が設置した光信号分岐端末回線収容キャビネット等にその光信号引込等設備が収容等されているもの

区 分	金 額 等	備 考
①年経費	6,203 (単位:円/年)	『H30年度適用網使用料算定根拠(加入者光ファイバ)』記載のⅡの1-2(1)のHのaの⑥単芯区間 +『H30年度適用網使用料算定根拠(加入者光ファイバ)』記載のⅡの1-2(1)のHのaの⑥電柱
②負担額	517 (単位:円/月)	① ÷ 12ヶ月 × (1 + 『H30年度適用網使用料算定根拠(加入者光ファイバ)』記載のXⅠ. 料金設定に使用した貸倒率)

b. (イ) 当社の光屋内配線(主として一戸建ての建物に設置される形態により設置するものに限り、)が設置されていないもの

② 協定事業者が設置した光信号分岐端末回線収容キャビネット等にその光信号引込等設備が収容等されているもの

区 分	金 額 等	備 考
①年経費	6,127 (単位:円/年)	『H30年度適用網使用料算定根拠(加入者光ファイバ)』記載のⅡの1-2(1)のHのaの⑥単芯区間 +『H30年度適用網使用料算定根拠(加入者光ファイバ)』記載のⅡの1-2(1)のHのaの⑥電柱 -『H30年度適用網使用料算定根拠(加入者光ファイバ)』記載のⅡの1-2(1)のHのaの⑥キャビネット
②負担額	511 (単位:円/月)	① ÷ 12ヶ月 × (1 + 『H30年度適用網使用料算定根拠(加入者光ファイバ)』記載のXⅠ. 料金設定に使用した貸倒率)

c. (ア) 当社の光屋内配線(主として一戸建ての建物に設置される形態により設置するものに限り、)が設置されているもの

区 分	金 額 等	備 考
①年経費	6,135 (単位:円/年)	aの①とbの①についてキャビネット設置率(H28年度実績(キャビネット設置:10%、引き通し:90%))で加重して算定
②負担額	511 (単位:円/月)	① ÷ 12ヶ月 × (1 + 『H30年度適用網使用料算定根拠(加入者光ファイバ)』記載のXⅠ. 料金設定に使用した貸倒率)

(2) 光信号引込等設備管理負担額

区 分	金 額 等	備 考
負担額	73 (単位:円/月)	((『網使用料算定根拠』記載のⅡの13のB.回線管理機能の(1)の(a)の①のa ÷ (c)の①のa ÷ 12ヶ月) + (『網使用料算定根拠』記載のⅡの13のB.回線管理機能の(1)の(a)の①のb ÷ (c)の①のb ÷ 12ヶ月)) × (1 + XⅣ. 料金設定に使用した貸倒率)

2. 光信号引込等設備の撤去に係る負担額 (1光信号引込等設備ごとに)

(1) 光信号引込等設備の未償却残高の算定に用いる取得固定資産価額

区 分	金 額 等	備 考
①未償却残高の算定に用いる取得固定資産価額	25,142 (単位:円)	平日設置の場合の取得固定資産価額
②未償却残高の算定に用いる取得固定資産価額	25,142 (単位:円)	① × (1 + 『網使用料算定根拠』記載のXⅣ. 料金設定に使用した貸倒率)

(2) 光信号引込等設備の撤去に要する費用

ア 光信号引込等設備を撤去する場合

区 分	金 額 等	備 考
①撤去に要する費用	11,289 (単位:円)	
②撤去に要する費用	11,289 (単位:円)	① × (1 + 『網使用料算定根拠』記載のXⅣ. 料金設定に使用した貸倒率)

イ 当社が設置した光信号分岐端末回線収容キャビネット等を撤去する場合

区 分	金 額 等	備 考
①撤去に要する費用	251 (単位:円)	
②撤去に要する費用	251 (単位:円)	① × (1 + 『網使用料算定根拠』記載のXⅣ. 料金設定に使用した貸倒率)

Ⅷ 既に設置された当社の光屋内配線に係る精算額

1. 既に設置された当社の光屋内配線に係る精算額(1回線ごと)

区 分	金 額 等	備 考
精算額	2,806 (単位:円)	『Ⅱ 工事費 (11) 屋内配線工事費』のウの(ア)のaの(c)の③ × (1 + 『網使用料算定根拠』記載のXⅣ. 料金設定に使用した貸倒率)

IX 番号情報データベース登録手続費、料金請求回収代行手続費、光信号端末回線の概算提供可能時期の調査に要する費用、光配線区域情報調査費、ルーティング番号登録工事等受付手続費、同一番号移転可否情報調査費、き線点情報調査費、端末回線情報提供手続費及び申込者情報確認結果即時通知手続費の算定において用いた一般管理費比率

区 分	比 率 等	備 考
①管理費	70,914 (単位:百万円)	「網使用料算定根拠」記載の設備区分別の費用明細表より
②直接費(営業費・施設保全費・運用費)	650,594 (単位:百万円)	「網使用料算定根拠」記載の設備区分別の費用明細表より
③減価償却費	279,473 (単位:百万円)	「網使用料算定根拠」記載の設備区分別の費用明細表より
④固定資産除却費	52,072 (単位:百万円)	「網使用料算定根拠」記載の設備区分別の費用明細表より
⑤一般管理費比率	7.2% (単位:%)	①/(②+③+④)

(参考1)設備区分別固定資産明細表(通信料対応設備合計及びデータ系設備合計の合計の内訳)

(単位:百万円)

資産の項目		主な配賦基準		通信料対応設備合計及びデータ系設備合計の合計		
				電力設備	その他	
機械設備	公衆電話機械設備	取得価額	-	0	0	0
		減価償却累計額	-	0	0	0
	市内電話機械設備	取得価額	直接賦課	556,296	0	556,296
		減価償却累計額	直接賦課	509,316	0	509,316
	市外電話機械設備	取得価額	直接賦課	46,980	0	46,980
		減価償却累計額	直接賦課	12,620	0	12,620
	電信機械設備	取得価額	-	11,216	0	11,216
		減価償却累計額	-	1,404	0	1,404
	電報機械設備	取得価額	-	0	0	0
		減価償却累計額	-	0	0	0
	DDX機械設備	取得価額	-	0	0	0
		減価償却累計額	-	0	0	0
	画像機械設備	取得価額	-	0	0	0
		減価償却累計額	-	0	0	0
	OCN機械設備	取得価額	-	0	0	0
		減価償却累計額	-	0	0	0
	伝送機械設備	取得価額	直接賦課	733,330	0	733,330
		減価償却累計額	直接賦課	634,981	0	634,980
	無線機械設備	取得価額	直接賦課	98,350	0	98,350
		減価償却累計額	直接賦課	18,317	0	18,317
電力設備	取得価額	直接賦課	1,406	0	1,406	
	減価償却累計額	直接賦課	281,056	281,056	0	
電話番号案内設備	取得価額	-	244,402	244,403	1	
	減価償却累計額	-	36,652	36,652	0	
総合監視システム	取得価額	取得資産額比	0	0	0	
	減価償却累計額	取得資産額比	2,944	521	2,423	
空中線設備	取得価額	直接賦課	1,437	254	1,184	
	減価償却累計額	直接賦課	1,506	267	1,239	
通信衛星設備	取得価額	-	16,629	0	16,629	
	減価償却累計額	-	13,374	0	13,375	
端末設備	取得価額	-	3,254	0	3,254	
	減価償却累計額	-	0	0	0	
線路設備	市内線路設備	取得価額	156,193	0	156,193	
	減価償却累計額	直接賦課	148,580	0	148,580	
土木設備	取得価額	直接賦課	7,613	0	7,613	
	減価償却累計額	直接賦課	29,537	0	29,537	
海底線設備	取得価額	直接賦課	28,599	0	28,598	
	減価償却累計額	直接賦課	939	0	939	
建物	取得価額	通信用建物に係るもの:直接賦課	254,984	0	254,984	
	減価償却累計額	上記以外のもの:取得資産額比	209,067	0	209,068	
構築物	取得価額	取得資産額比	45,916	0	45,916	
	減価償却累計額	取得資産額比	14,666	0	14,666	
機械及び装置	取得価額	取得資産額比	13,290	0	13,289	
	減価償却累計額	取得資産額比	1,377	0	1,377	
車両及び船舶	取得価額	取得資産額比	525,327	27,857	497,470	
	減価償却累計額	取得資産額比	408,175	22,893	385,282	
工具、器具及び備品	取得価額	取得資産額比	117,152	4,964	112,188	
	減価償却累計額	取得資産額比	43,540	5,116	38,424	
リース資産	取得価額	取得資産額比	37,664	4,426	33,239	
	減価償却累計額	取得資産額比	5,875	690	5,185	
土地	取得価額	取得資産額比	2,064	252	1,812	
	減価償却累計額	取得資産額比	1,822	224	1,597	
建設仮勘定	取得価額	取得資産額比	243	28	215	
	減価償却累計額	取得資産額比	619	77	542	
無形固定資産	取得価額	交換・伝送・線路設備に係るもの:直接賦課	478	59	419	
	減価償却累計額	上記以外のもの:取得資産額比	141	18	123	
設備区分毎の固定資産合計	取得価額	取得資産額比	35,932	4,458	31,474	
	減価償却累計額	取得資産額比	27,576	3,419	24,158	
その他	取得価額	取得資産額比	8,355	1,039	7,316	
	減価償却累計額	取得資産額比	141	18	123	
その他	取得価額	取得資産額比	81	10	70	
	減価償却累計額	取得資産額比	61	8	53	
その他	取得価額	取得資産額比	58,131	1,333	56,798	
	減価償却累計額	取得資産額比	0	0	0	
その他	取得価額	取得資産額比	58,131	1,333	56,798	
	減価償却累計額	取得資産額比	3,378	400	2,978	
その他	取得価額	取得資産額比	0	0	0	
	減価償却累計額	取得資産額比	3,378	400	2,978	
その他	取得価額	取得資産額比	293,895	5,193	288,702	
	減価償却累計額	取得資産額比	277,577	4,359	273,221	
その他	取得価額	取得資産額比	16,315	834	15,481	
	減価償却累計額	取得資産額比	0	0	0	
その他	取得価額	取得資産額比	3,039,598	326,281	2,713,317	
	減価償却累計額	取得資産額比	2,584,546	280,047	2,304,499	
その他	取得価額	取得資産額比	455,052	46,234	408,818	
	減価償却累計額	取得資産額比				

※ 資産は「設備区分別固定資産明細表」における、端末系交換設備(音声)＜DSM-I・TCMを除く＞、端末系交換設備(データ)、端末系交換設備～端末系又は中継系交換設備伝送路(音声)、端末系交換設備～端末系又は中継系交換設備伝送路(データ)、中継系交換設備(音声)、中継系交換設備(データ)、一般第一種指定設備の合計。

(参考2)設備区分別の費用明細表(通信料対応設備合計及びデータ系設備合計の合計の内訳)

(単位:百万円)

費用の項目	主な配賦基準	通信料対応設備合計及びデータ系設備合計の合計		
			電力設備	その他
営業費	・取得資産額比	0	0	0
運用費	-	0	0	0
施設保全費	・電力設備など個別把握可能なもの:直接賦課 ・上記以外のもの:支出額比	104,944	8,107	96,837
共通費	・支出額比	9,710	411	9,299
管理費	・支出額比	9,956	748	9,208
試験研究費	・電力設備など個別把握可能なもの:直接賦課 ・上記以外のもの:支出額比	12,335	235	12,100
通信設備使用料	・取得資産額比	2,787	294	2,493
租税公課	・正味資産額比	8,650	587	8,063
減価償却費	・電力設備など個別把握可能なもの:直接賦課 ・上記以外のもの:正味資産額比	89,783	12,464	77,319
固定資産除却費	・電力設備など個別把握可能なもの:直接賦課 ・上記以外のもの:正味資産額比	10,663	729	9,934
(再)除却損	・電力設備など個別把握可能なもの:直接賦課 ・上記以外のもの:正味資産額比	3,341	208	3,133
合計	-	248,829	23,575	225,254

※ 費用は「設備区分別の費用明細表」における、端末系交換設備(音声)<DSM-I・TCMを除く>、端末系交換設備(データ)、
端末系交換設備～端末系又は中継交換設備伝送路(音声)、端末系交換設備～端末系又は中継交換設備伝送路(データ)、中継系交換設備(音声)、
中継系交換設備(データ)、一般第一種指定設備の合計。

(参考3)その他

電力設備等の年額料金の算定に適用する比率に係る激変緩和措置

(1)設備管理運営費比率[※]

(ア)電力設備及び空気調整設備

※平成30年度に適用する設備使用料の年額料金の算定に用いる調整額にのみ適用する比率

区 分	通信料対応設備合計及びデータ系設備合計の合計		備 考
①取得固定資産価額	291,575	(単位:百万円)	(参考1)設備区分別固定資産明細表(通信料対応設備合計及びデータ系設備合計の合計の内訳)より(建物・構築物・土地・建設仮勘定除く)
②設備管理運営費	23,574	(単位:百万円)	(参考2)設備区分別の費用明細表(通信料対応設備合計及びデータ設備合計の合計の内訳)より
(再掲)減価償却費	12,464	(単位:百万円)	(参考2)設備区分別の費用明細表(通信料対応設備合計及びデータ設備合計の合計の内訳)より
③残価一括償却に係る費用	3,738	(単位:百万円)	(参考2)設備区分別の費用明細表(通信料対応設備合計及びデータ設備合計の合計の内訳)より
④上記以外	8,726	(単位:百万円)	(参考2)設備区分別の費用明細表(通信料対応設備合計及びデータ設備合計の合計の内訳)より
⑤設備管理運営費(残価一括償却に係る費用以外の減価償却費除く)	14,848	(単位:百万円)	②-④
⑥設備管理運営費比率(残価一括償却に係る費用以外の減価償却費除	0.051		⑤/①

電力設備及び空気調整設備の設備管理運営費比率について、平成28年度期首時点において耐用年数を経過している設備の残存価額を一括して減価償却費に費用計上した額を、除却費とみなして平成30年度及び平成31年度に適用される設備管理運営費比率の原価にその2分の1ずつを加えて算定するものとします。なお、本算定を反映した比率については、平成30年度及び平成31年度に適用する設備使用料の年額料金の算定に用いる調整額にのみ適用するものとします。

(理由)

今回、一括して減価償却費として費用計上した設備の残存価額は、会計方針の変更に伴う残存価額の見直しに伴い、従来であれば、除却費として計上されていたものが減価償却費として計上されたものであることから、当該費用を除却費とみなして設備管理運営費比率を算定することで、従来どおり、実際に発生したコスト回収が可能となるため。なお、設備管理運営費比率の急激な上昇が見込まれるが、平成30年度及び平成31年度の2年にわたってその影響を繰り延べることにより、当該比率に起因する設備使用料の大幅な変動を緩和することとする。